

官報

號外

明治三十二年二月七日

火曜日

印刷局

第十三回 貴族院議事速記録第二十號

明治三十二年二月六日(月曜日)午前十時十六分開議

議事日程 第二十號 明治三十二年二月六日

午前十時開議

- 第一 外國人ノ署名、捺印及無資力證明ニ關スル法律案 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三 葉煙草專賣法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
- 第四 日本銀行納付金ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
- 第五 兌換銀行券條例中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
- 第六 特許法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
- 第七 意匠法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
- 第八 商標法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
- 第九 府縣制中改正法律案(中西光三郎君) 第一讀會
- 第十 郡制中改正法律案(中西光三郎君) 第一讀會

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

一昨四日本院ニ於テ可決シタル政府提出裁判所設立廢止及管轄區域變更ニ關スル法律案ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知シタリ

同日本院ニ於テ衆議院提出醫師會法案ヲ否決シタル旨衆議院ニ通知シタリ

同日本院ニ於テ可決シタル官幣大社香椎宮追遠會ニ對スル國庫補助ノ件建議書ハ即日政府ニ呈出シタリ

同日男爵紀俊秀君、丸山作樂君ヨリ三十三名ノ賛成ヲ以テ神祇ニ關スル獨立官衙設置ノ建議ニ對スル質問書ヲ提出セラレタルニ依リ即日政府ニ轉送シタリ

- 各委員長 副委員長 左ノ適當選セラレタリ
- 臺灣銀行補助法案特別委員會
 - 委員長 子爵由利 公正君
 - 副委員長 富田 鐵之助君

貴族院議事速記録第二十號 明治三十二年二月六日 議長ノ報告

失火ノ責任ニ關スル法律案特別委員會

委員長 松岡 康毅君 副委員長 名村 泰藏君

葉煙草專賣資金會計法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵錦 織 教久君 副委員長 子爵板倉 勝達君

○男爵紀俊秀君 唯今報告ニナリマシタ質問書ニ附キマシテ極簡短ニ一應說明ヲ致シタウゴザイマスガ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

(男爵紀俊秀君演壇ニ登ル)

○男爵紀俊秀君 神祇ニ關スル獨立官衙設置ノ儀ニ附キマシテ本員等ガ質問書ヲ政府ニ提出致シマシテゴザイマスルガ、總テ神祇ノコト、申シマスルモノハ非常ニ事ハ重大デアリマスルガ併シ此美ナル國體ノ下ニ生活シテ居ル人間ノ腦中ニハ誰一人トシテ神祇ト云フ念慮ハナイ者ハアリマセヌ、デスカラシテ別段ニ本員等カ精シク説明スル必要モナカラウカト存ジマスルケレドモ併シ非常ニ事ガ重大ナコトデアリマスルシ、又餘程此建議案ガ出マシテカラ年月ヲ經マシテマダ何等ノ設置ノ儀モ見ナイコトデアリマスルカラ一應簡短ニ御迷惑ヲ省ミズ質問ノ趣意ヲ要領ダケ述ベテ置カウト存ジマスル、此建議案ハ諸君モ御承知ノ通ニ第九讀會ニ於キマシテ貴族院カラモ出マスルシ又衆議院カラモ出マスルシ兩院トモ可決ノ上デ政府ヘ建議ヲシタコトデアリマス、然ルニ第十讀會ニ至リマシテモ未ダ何等ノ設置スルト云フヤウナ様子モ見エマセヌ、ソレ故ニ質問ナリ或ハ建議ナリガ貴衆兩院カラ度々起リマシタデゴザイマスガ貴族院カラ出マシタル建議案ノ大體ト申シマスルモノハ其時分ノ速記録ニモ載ッテ居リマスカラ今日別段述べル必要モアリマセヌカト思ヒマスケレドモ、大分年月モ經ッテ居リマスカラチヨット簡單ニ其理由ノ大體ヲ申述ベテ見マスレバ神社ト云フモノハ決シテ宗教ト同一視スベキモノデアライ、神祇ト云フモノハ彼ノ信仰ノ自由ヲ許シテ居ル所ノ佛教トカ或ハ耶蘇教ト云フモノト決シテ同一ニ視ルベキモノデアライト云フコトハ是ハモウ極明ナルコトデアリマシテ二千五百年來帝國ノ歴史ヲ緝キマスレバ明ニ分ル事柄デアリマス、即チ換言シテ申シマスレバ神社ト云フモノハ國家ノ宗廟デアリ、國民ノ崇拜スル所デアアル決シテ信仰自由デテ誰ガ信ジテ善イ誰ガ信ジテ惡イト云フモノデアラタテ何デモカシテモ日本人民ト云フモノハ此神祇ハ何時モデモアリ又義務デアアルト云フ程ノモノデアアル、然ルニ此神社ノ事柄ヲシテ唯同一部局即チ内務省ノ一省ノ中ニ社寺局ト云フ局ガアツテ其社寺局ノ中ニ神社課モアレバ寺院課モアリ或ハ耶蘇教ト云フヤウナ宗教ト共ニ同一部局ノ

下ニ管轄セシムルト云フ有様デアリマス、斯ウ云フ有様デ行クト云フト恐レ多クモ皇祖皇宗ノ御神靈ハ申スニ及ビマセズ忠君義士ノ靈魂ヲ祀ツテアル神社ノ事柄ガ彼ノ信仰歸依デ以テ出來テ居ル神等ト同一視セラル、ト云フノハ實ニ不都合千萬ナル結果ヲ生ズルト云フ恐ガアラウト存ジマス、ソコデ是非トモ獨立ノ官衙ヲ設ケテ其獨立ノ官衙ヲ神祇ノコトダケヲ支配セシメテ欲シイ、サウシテドウカ天壤無窮ノ國體ト相副ヒ相頼ルヤウニシテ完全ナル所ノ結果ヲ見タイト云フコトヲ建議致シマシタ、所ガ先程モ申シマス通第九議會ニ於テ其建議ガ出マシタケレドモ第十議會ニ至ルマデ何等設置ノ模様ガ見エマセヌカラシテ第十議會ニ質問書ガ出テ何故事ヲ緩慢ニ付シテ居ルカ、何故早ク置カナイカト云フコトヲ時ノ政府ニ質問シマシタ所ガ政府ノ答辯ニハ神祇ノコトハ非常ニ事ガ重大デアアルカラ中、一朝一夕ニハ調査ガ出來ナイ、十分ニ調査シタ上デ返答ヲスルカラシテ詰リ唯今ハ調査中デアルト云フ返答デアリマシタ、神祇ノコトヲ非常ニ重ク見ラレ又鄭重ニ取扱ツテ取調ノ上デ報告スルト云フコトデアリマスカラシテ、我々ハドウカ一日モ早ク其調査ガ出來テ何卒早ク神祇ニ關スル獨立ノ官衙ガ一日モ早ク設置セラル、コトヲ首ヲ伸ベテ國民ト共ニ待ツテ居リマシタ所ガ其後幾多ノ年月ヲ經マシテ今日ニ至ルマデ未ダ何等ノ設置ノ模様モ見エナイ、併ナガラ最早餘程ツレカラハ時日モ經タコトデアリマスカラ定テ政府ニ於テハ十分ニ御調ガ附イタデアラウト存ジマス、ツレド本員等ハ政府ノ御取調ノ結果政府ハドウ云フ御意見ヲ持ツテ居ラル、カ其御意見ヲ伺ヒタイカラ質問書ヲ出シタノデアリマシタガ、既ニ當十三議會ニ於キマシテモ衆議院カラモ建議案トシテ再ビ出シテ殊更又其經費ヲモドウカ追加豫算トシテカラニ議會ノ方へ出シテ貰ヒタイト云フマデノ請求ニナツテ居リマス、デ衆議院ノ希望スル所ト貴族院ノ希望スル所ハ皆ドウカ獨立官衙ヲ一日モ早ク置イテ貰ヒタイト云フ望デ建議モ出マスレバ質問書モ出テ居ル今日ノ有様デアリマス、殊ニ神祇ニ關スル獨立ノ官衙トアリマスガ、是ハ神祇官ト云フ程ノ大層ナ望デハナイ、尤モ我々ノ終局ノ希望ハ神祇官ヲ置イテ日本國體ト相副ヒ相頼ルヤウニシテ日本ノ美ヲ益々萬國ニ輝シテ欲シイト云フコトハ我々ノ最モ希望スル所デアリマスカレドモ神祇官ト云フモノハ時勢トノ關係モアリマシ又餘程事ガ重大デアアルカラ一朝一夕ニハ出來ヌコトモ我々ハ十分承知シテ居リマスカラ何モ神祇官ト云フ程ノ大層ナモノデナクテモ宜イガ免モ角モ社寺局ト云フモノ、中ノ神社課ト云フモノヲ分ツテ他ニ神祇局或ハ又神社部トカ何トカ云フヤウナ局部ヲ設ケテ貰ヒタイト云フダケノコトニシテ免モ角モ一階段ヲ附ケテ欲シイト云フ望デアリマスカラ左様ムヅカシイコトデモナカラウト思ヒマス、殊ニ改正條約ノ實施セラレントスル今日デアリマスカラ神社ト云フモノト宗教ト云フモノトノ區別ヲシテ置クノハ非常ニ切迫シタ事柄デアッテ今日最モ必要ナコト、考ヘマス、事ガ容易クシテサウシテ其コトヲシタナラバ大變國體ヲ崇メ又國體ニ副フテ行カナケレバナラヌコトデアリマスカラ是非トモドウカ速ク願ヒタ

イノデアリマス、併シ政府ノ方デハドウ云フ御意見ヲ持ツテ居ラレマスガ、其御意見ヲ一應承リタイノデアリマスガ、此問題ハ非常ニ重大ナコトデアアルカラシテ國體上神祇ト云フモノハ最モ關係ノコトデアリマスカラシテドウカ確ナ答ヲ得タイ、曖昧ノ答ハ本員等ハ望マナイ確タル御答辯ヲ一日モ早ク願ヒタイ、本期議會モ餘程日モ切迫シ來タコトデアリマスカラ一日モ早ク答辯ヲ戴キタイ、其御答辯ノ模様ニ依リマシテ又本員等ハ建議案トシテ出スカ何トシテ出スカ考モアリマスカラドウカ速ニ、ツレモ曖昧ナ答デナク確實ナル答ヲ一日モ早ク願ツテ置クノデアリマス、極簡單ニ申述ベテ置キマス

○子爵谷干城君 豫算委員會ニ於キマシテハ日限モ餘程切迫シテ來テ居リマスシ、色々必要ノ議事ノタメニ延引シテ居リマスガ、本日モ委員會ヲ開ク積デ皆通知シテ居リマス譯デアリマスカラ、是ヨリ此議場ヲ退イテ委員會ヲ開キタイト存ジマスガ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 委員ノ諸君ハモウアチラニ集ツテ居ラル、ノデアリマスカ、ツレトモ議席ニ居ラル、ノデアリマスカ

○子爵谷干城君 アチラヘ集ツテ居ラル、方モアラウト存ジマス、併シ人數ノ多寡ハ此處デ何トモ申サレマセヌ

○議長(公爵近衛篤磨君) チョット定足數ヲ調ベマシタ上デ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 谷子爵ニ申シマスガ宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君 ツレナラバ豫算委員ノ諸君ニ申上ゲマス、ドウゾ委員會ヘ御出ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、外國人ノ署名捺印及資力證明ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

(小原書記官朗讀)
外國人ノ署名、捺印及無資力證明ニ關スル法律案
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十二年二月二日

- (左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
- 内閣總理大臣 侯爵山縣有朋
 - 大藏大臣 伯爵松方正義
 - 內務大臣 侯爵西鄉從道
 - 陸軍大臣 伯爵桂 太郎
 - 文部大臣 伯爵樺山資紀
 - 外務大臣 伯爵青木周藏
 - 遞信大臣 伯爵芳川顯正
 - 海軍大臣 山本權兵衛
 - 司法大臣 清浦奎吾
 - 農商務大臣 曾禰荒助

外國人ノ署名、捺印及無資力證明ニ關スル法律案

第一條 法令ノ規定ニ依リ署名、捺印スヘキ場合ニ於テハ外國人ハ署名スルヲ以テ足ル

捺印ノミヲ爲スヘキ場合ニ於テハ外國人ハ署名ヲ以テ捺印ニ代フルコトヲ得

第二條 民事訴訟法第九十二條ニ依リ訴訟上ノ救助ヲ求ムル外國人ハ日本ニ住所、居所ヲ有セサルトキハ其ノ住所又ハ居所アル外國ノ管轄官廳ノ證明書ヲ以テ同法第九十三條ニ定メタル無資力ノ證明ヲ爲スコトヲ要ス

但シ其ノ證明書ニハ日本ニ駐在スル其ノ外國ノ領事ノ認證ヲ受クヘシ日本ニ住所又ハ居所ヲ有スル外國人ハ其ノ住所又ハ居所地ノ市町村長ノ證明書ヲ以テ前項ノ證明ヲ爲スコトヲ要ス但シ市町村長ノ證明書ヲ提出スルコト能ハサルトキ又ハ其ノ證明力不十分ナルトキハ裁判所ハ日本ニ駐在スル本國領事ノ認證アル本國管轄官廳ノ證明書ヲ提出セシムルコトヲ得

附則 第三條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

政府委員小松原英太郎君演壇ニ登ル

○政府委員(小松原英太郎君) 本案提出ノ理由ニ就キマシテ簡單ニ申上ゲテ置キタイト存ジマス、本案ハ新條約實施ノタメ必要ヲ認メマシテ提出致シタノデアリマス、第一ハ外國人ノ署名捺印ニ關スルコトデアリマスガ、元來慣習ヲ異ニ致シテ居リマスル外國人ニ之ヲ適用致シマスルコトハ極テ困難デアラウト思フデアリマス、當ニ彼等ニ於テ不便ヲ感ズルト云フノミデアラマス、而シテ外國人ノ署名捺印、此捺印ト云フコトガ左マデ必要ノコトデアリカト申シマスルト左程ニ必要ト認メマセヌデアリマス、外國人ハ舊來印ヲ用非マセヌデア署名ノミヲ以テ立ツテ居ルデアリマス、強テ必要モゴザイマセヌノニ種々不便煩雜ヲ招イテ此規定ヲ適用スルト云フニモ及バナイコト、考ヘルノデアリマス、ソレ故ニ第一條ノ規定ヲ要スル所以デアリマス、第二ハ外國人ノ無資力證明ニ關スルコトデアリマスルガ、民事訴訟法九十三條ノ第二項ニ依リマスルト訴訟上ノ救助ニ關スル無資力ノ證明ヲ致シマスルモノハ管轄市長村長デアリマス、然ルニ我國ニ本籍ヲ有シテ居リマセヌ所ノ外國人ニハ管轄市町村長ト云フモノガナイノデアリマス、從ツテ訴訟上救助ヲ要スル場合ニ於キマシテ無資力證明ヲ與ヘル道ガナイノデアリマス、ソレ故ニ本案第二條ノ如ク特別ノ規定ヲ要スル次第デアリマス、大要右申述ベマシタ通ノ次第デアリマスルカラドウゾ速ニ御協賛下サルコトヲ希望致シマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 別段御發議ガナクバ委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵小笠原壽長君 此特別委員ノ選舉ハ議長ニ御委託致シマス

○男爵中川與長君 贊成

○子爵由利公正君 贊成

○議長(公曾近衛篤磨君) 議長委託ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者多シ)

○議長(公曾近衛篤磨君) 葉煙草專賣法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(子爵由利公正君演壇ニ登ル)

○子爵由利公正君 特別委員會ニ於キマシテハ此法案ハ衆議院ヨリ回リマシタル修正ノ通可決スベキモノトナリマシタノデアリマス、是ハ餘程數多ノ修正デアリマスル故ニ質問モ餘程澤山デアリマシタガ、大體ヲ是ニ申上ゲマスルト畢竟政府ニ於キマシテハ要領ヲ約メテ法案トシテ出サレマシタノガ、衆議院ニ於テハ殆ド細目ト云フ程ノ所ニマデ立入ッテ其方法ヲ書込ミマシタモノデアリマシテ、色々委員ノ諸君ニ於キマシテハ聊カ冗長ニ過ギルノ嫌モアルヤノ御論モアリマシテゴザイマス、併ナガラ政府委員ノ申サレル所ニ依リマスルト事實ハ此通デアッテ少モ是デ差支ヘヌ、尤モ此通致スコトデアアルカラ即チ事柄ハ政府モ一々同意シタコトデアアルト云フ答デアリマスルカラ折角此衆議院デツレ程詮議シマシタコトヲ今更之ニ手ヲ入レルト云フ程ノ必要ハアルマイト云フコトノ論定デアリマシテ一人ノ異議者モゴザイマセズ衆議院修正ノ通可決スベキト云フコトニ決シマシタノデアリマス、其中ニ此十九條ノ第二第三第四杯ト申ス大層面倒ニ見惡ウアリマスルガ是等モ矢張酒稅法案杯ニ例モアリマスルサウデアリマスルカラ見惡イトハ申ス條、畢竟此法案ト云フモノハ煙草一種ニ係ルコトデアリマシテ全體ニ係ル法律ト申スデモナイ譯デアリマスルカラ是等モ見惡イデ直シヤウモ如何ニモアルナレドモ是ハ此通致シテ置イテ宜カラウト、斯ウ云フコトニ詰リシタノデアリマス、ソレカラ此二十一條ノ三ト申ス所ニ「葉煙草專賣ヲ業トスル者葉煙草ニ非サル品類ヲ使用シテ煙草ヲ製造シ又ハ煙草製造ニ供スヘキ目的ヲ以テ葉煙草ニ非サル品類ヲ賣買シタルトキハ十圓以上」ト云フコトガアリマスルガ、是等モ色々煙草ニアラサル葉ヲ取交ゼテ煙草ニ紛ラスト云フコトガ澤山ニアルモンジヤサウデアリマス、是ハ或ハ山歸來デアルトカ色々ノ葉ガ餘程澤山ニアリマシテ、我々ハ不案内ノコトデアリマスカラ追々穿鑿シテ見マスルト、政府委員ハ數多ノ見本葉ヲ取寄セラレマシテ、如何ニモ澤山ノ品ガアルト云フコトニ我々ハ驚イタ位ノ次第デアリマス、中ニハ此煙草ハ漸ク二割ヲ入レマシテ外ノ葉ヲ八分通取交ゼテ造ツタ煙草ト云フ見本モアリマシテアリマス、ソレ等ハ私等ガ飲ンデ見マシテモ矢張結構ニシテ煙草トシテ飲メルノデアリマス、始テ驚イタヤウナコトデアリマシタガ是ハ近來ニナリマシテハ益々餘程多イモンヂヤサウデアリマス、ソレ故ニソレ等ノコトモ取締ヲ一様ニ附ケル積デアアル、是ハ畢竟葉煙草專賣ト云フ法ガ設ケラレタニ附イテ益々多クナル傾向デアアルカラ同様ニ取締ヲ致サヌケレバ詰リ煙草ノ取締ガ出來ヌト云フコトニ關係スル

譯テ斯様ニ案ガ設ケラレタコトデアルト斯ウ申スコトデアリマス、ソレカラ
 此煙草ノ營業ニ關係スル者ハ凡ソ大數デハアリマスルガ二人前五十圓課セ
 アリマス、此中ニ五十圓ノ稅ヲ課セラレルトアリマスルガ一人前五十圓課セ
 ラレモノト見マスルト凡ソ百萬圓ノ稅ガアルモノト見込ニテ宜シト斯ウ
 申スコトデアリマス、是等モ葉煙草專賣業ハ誠ニ始テカラ未ダ年數ヲ經ナイ
 コトデアリマスカラ十分詳細ノ數ハ擧ラヌ、先ヅ之ガ行レマシテ始テ精密ナ
 ル數ガ擧ラウト申スコトデアリマス、ソレカラ此五十圓ト云フ稅ニナリマシ
 テハ是モ委員會デ色々ニ質問モアリ申合モセラレテアリマスガ或ハ一人前二
 十圓デ宜カラウ、或ハ五十圓デ宜カラウト斯ウ云フ說モアリマシテ、是モ餘程
 念ヲ入レテ調ベラレマシタガ段々衆議院ノ有様ヲ政府委員カラ承リマスル
 衆議院デモ餘程是ハ論ガ多ウカッタト云フコトデアリマス、ソレデ丁度衆議
 院デハ一方ハ百圓取ルガ宜シ、百圓モ取ヌケレバ中ニ此煙草ニ利益ガ多
 イモノデアアルカラ此等ガ止マヌト云フ說ガアリマスルノト、今一ツニハ又此
 田舎ヘ行キマスルト云フト隨分此煙草ノ商人ト云フモノハ小サイモノデア
 ル、是ガ五十圓ノ稅ヲ持ッテ出ルト云フト中ニ其商賣ガ出來ナイ、況ヤ又此煙
 草ノ仲買ヲシテ又製造モスルト云フモノニナレバ二ツナガラ出サニヤナ
 ラヌ、此二ツ出ス者ナラバ百圓ト云フ元手ハ商賣ヲシヤウトスルト直キニツ
 コヘ備ヘンニヤナラヌ、是ハ細カイ商賣人ガ誠ニ迷惑ヲスルカラ三十圓ニシ
 ヤウト云フ論ト其二ツガ段々鍊リヨウテサウシテ詰リ五十圓ニシテ置クガ宜
 シト云フコトデアリマス、極ツテ參ッテモノヂヤト申スコトデアリマス、
 右ヤウナ次第デアリマスカラ委員會ニ於キマシテハ矢張五十圓ニシテ置ク
 ガ然ルベキト云フコトデアリマス、修正モナク可決セラレマシタ譯デアリマ
 ス、サウ御承知ヨ……

○谷森眞男君 チョット質問ヲ致シタウゴザイマス、委員長ニ御尋申シタイ、
 唯今御述ニナリマシタ此十九條ノ煙草製造ヲ業トスル者及煙草賣買ヲ業トス
 ル者之ヲ合セテ二万人ト云フコトデアリマス、ソコガシツカリ分リマセ
 ヌデゴザイマシタカラソレヲ御尋申シタイ

○子爵由利公正君 唯今ノ御尋ノハ此十九條ノ煙草ニアラザル場合ノ所デア
 リマス

○谷森眞男君 十九條ノ五ト云フ所デゴザイマス、製造ヲ業トスル者ト賣買
 ヲ業トスル者ト合テ二万人アルト云フコトデアリマス、製造ヲ業トスル者ト賣買
 ヲ業トスル者ト合テ二万人アルト云フコトデアリマス

○金子堅太郎君 全クサウデゴザイマス

○金子堅太郎君 私ハ政府委員ニ質問ヲシマスガ、幸ヒ大藏大臣モ御出ニ
 ナッテ居リマス、當局者モ御出ニナッテ居リマスガ、此法律ヲ通リマスルト
 葉煙草ノ賣下代金ハ輸入ノ原價ノ十倍ニナリマスガソレヲ一ツ御席カラデ宜
 シウゴザイマスカラ……

○政府委員(仁尾惟茂君) 先ヅ此三十二年度ハ凡ソ内國葉モ十割ノ積デゴザ
 イマス、輸入ノ分モ先ヅサウ云フ積デ……

○金子堅太郎君 次ニ御尋シタイノハ此稅法ノ……今度ノ稅法ガ外國ニ通知
 ニナッテ六箇月後ニ施行ニナル、其前ノ積デゴザイマスト何カ三割五分ト云
 フコトヲ私ハ記憶シテ居リマスガ此法律ノ施行ノ前後ニ於テ葉煙草ノ賣下代
 ハ外國カラ來ルノ、稅ハ三割五分デ今ハアル、此法律ガ執行ニナレバ原價ノ

十割ニナルト云フ、其稅額ノ差ガ……又賣下代ノ差ガアルモノデアリマス
 カ、ソレヲモウ一ツ……

○政府委員(仁尾惟茂君) 此稅則施行マデハ矢張三割五分デゴザイマス、其
 後ハ矢張專賣法ノ……

○金子堅太郎君 然ラバ私ハ法案ニ附イテ質問ヲシマスガ我々ハ此法案ノ大
 體ニ附イテハ無論委員長ノ御報告ノ通可決スベキモノト認メル、併シ此法案
 ガ施行ニナルト葉煙草ヲ輸入スル點ニ附イテハ保稅倉庫法トノ關係ニ附イテ
 一ノ疑點ヲ我輩ハ見出シマシタラ當局ノ大臣又ハ政府委員デ明瞭ニ御説明ヲ
 請ヒタイ、ト申スハ此法律ノ第十九條ノ修正ノ三ニ「葉煙草ハ政府ノ外之ヲ
 外國ヨリ輸入スルコトヲ得ス」此法律ガ唯今發布ニナリマスレバ八月ノ半
 頃ヨリ六箇月ノ後ニ實施サレル、假ニ今日ガ二月ノ六日デゴザイマスカラ今
 日發布ニナルト假定致シマスレバ外國ニ通知シテ六箇月ノ後ニ實施サレルマ
 カラ八月ノ六日ヨリ施行ニナル、是ヨリ先キ唯今ノ三割五分ノ輸入稅ヲ拂フ
 見込ヲ以テ葉煙草輸入業ヲスル者ガ外國ニ葉煙草ヲ注文シテ輸入シテ八月六
 日マデニスツカリ己ノ見込ニ入レテシマヘバ三割五分ノ稅ヲ納メマスガ營業
 上ノ慣例營業ノ如何ニ據リマスレバ葉煙草ヲ輸入スル者ハソレノ刻煙草卷
 煙草製造人ト特約ヲ結ンデ各地方ヨリ注文ヲ受ケテ外國ヨリ葉煙草ヲ輸入シ
 テソレガ積込ノ稅關ニ著イテ、己ノ倉庫ニハ莫大ノ數量ト云フモノヲ入レル
 コトハ出來ナイ、而シテ又ソレダケ取引先ニ直ダ送ル譯ニ行カヌカラ三十年
 ノ法律デ保稅倉庫「ボンデット、ウエーア、ハウス」ニ入レ其儘稅關ノ庫ニ入
 レテ、ソレカラ特約先ノ製造人葉煙草輸入業者ニ讓渡スト云フトキニ第二條
 ヲ讀ミマス「保稅倉庫ニ藏置ノ貨物ハ其ノ藏置中ハ輸入シタルモノト看做
 サス」トアル、政府ノ監督ノ下ニ藏置ヲ拂ッテ預ケテアルモノハ輸入シタル
 モノトハ看做サヌトナルト此十九條ノ三ト直ク關係ヲ惹キ起シマス、八月
 六日マデニ三十萬五千方ト云フ葉煙草ヲ皆引出セバ宜イガ保稅倉庫ト云フモ
 ノハ是ハ營業者ノ便益ヲ圖ッテ政府ガ熱心ニ希望シテ出サレタ案デアアルカラ
 必ズ保稅倉庫ニ入レテ營業者ニ便利ヲ與ヘラルコト、思考スル、然ルニ七月
 ノ半バ頃ニ保稅倉庫ニ輸入シテ保稅倉庫ニ預ケテ置イテ政府カラ預リ證書モ
 取レバ輸入稅ノ額モ極ツテ居リ藏置モ拂ッテ居ル、相當ノ倉庫會社ト同様
 ニ政府ニ倉敷料ヲ拂ッテ居ッテ、ソレカラ内地ノ製造人ニ輸入商ガツレ、
 分配スルトキハ八月ノ六日マデニ濟メバ宜イガ若シ濟マヌデ七日ニナレバ保
 稅倉庫法ノ第二條ニ據ッテ輸入シタルモノト看做サヌトナルト今度此法律ノ
 十九條ノ三ニ行ッテチヤント外國ニ金ヲ拂ッテ取ッテ居ルモノモ本人ガ輸入
 シタモノト看做サヌト云フ以上ハ本人ハ其物ヲ引取ルコトガ出來ヌ、政府ガ
 取上ゲテ政府カラ十割ノ價格ヲ以テ本人ニ與ヘル、既ニ輸入シタ、ソレカラ
 三割五分ノ稅ヲ稅關ノ證書モ貰ッテ居ルニ拘ラズ一日後レタ、メニ十割ノ稅
 ヲ取ラレ其品物ハ政府ニ取上ゲラレテシマフコトニナルト云フト是ハ此法律
 ノ起草ノトキ、委員會デ修正ノトキ、此問題ハ起ッテ居ルヤ否ヤ我輩ハ存シマ
 セヌケレドモ忽チ此コトガ起ルデアラウ、ソコデ今度ハ稅ガ増ス方ダカラ政
 府ノ收入ガ殖エルカラ宜イガ是ガ逆比例ニナッテ若シ正則ニ唯今ノ三割五分
 カ十割トナッテ新稅法ガ三割五分トナリ比較ガ違ッタトキハ政府ハ收入
 ガ……

○議長(公費近衛篤磨君) 金子サンのハ質問デスカ
 ○金子堅太郎君 ソレヲ言ハナケレバ質問ガ分ラヌト思ヒマスカラ...ソレ
 デ輸入シタトキニ税額ガ極ツテ居ルカラ私ハ八月六日ニナツテ倉庫法ニ斯ウ
 書イテアルカラ其所ノ取扱ハ政府ニ於テドウ御附ケニナリマス、ソレヲ伺
 ヒタイ、私ノ質問ハ今議長ノ御注意モアリマシタガ今ノ來歴ヲ委シク申サヌ
 ト分リマセヌカラ斯ク長ク質問ヲシタノデアリマス、御説明ヲ請ヒマス

(政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル)
 ○政府委員(目賀田種太郎君) 金子君ニ御答ヲ致シマスガ唯今ノ場合ニ於キ
 マシテハ輸入デゴザイマセヌカラ即チ輸入税ヲ課スル譯ニハ參ラヌト思ヒマ
 ス、ソレデ宜シウゴザイマス

○金子堅太郎君 サウスルト假令七月ノ初ニ輸入シテ保税倉庫法ニ據ッテ税
 額モ定リ又藏敷料モ定リ税關長カラ領收證書ヲ貰ッテ居ル輸入高ガ八月六
 日マデニ引出サヌト七日ニナレバ皆政府ノ收入ニナリ政府ノ品物ニナリマス
 カ

○政府委員(目賀田種太郎君) 保税倉庫ニ在ル間ハ矢張途中ニ在ル者ト同ジ
 モノニ見マス

○金子堅太郎君 ドコニ在ルモノト...
 ○政府委員(目賀田種太郎君) 途中ニ在ルモノト同ジモノニ見マス、日本ニ
 來ル途中ニ在ルモノト同ジニ見テ居ル姿デアリマス、輸入デハナイカラ輸入
 税ヲカケル譯ニハ行キマセヌ

○金子堅太郎君 ソコデ保税倉庫法ヲ起草シナツタ時ノ話ヲ聽キ又農商務省
 ノ高等會議ニカケラレタトキノ當局者ノ此ニ條ノ説明ハ速記録ニモゴザイマ
 ス通保税倉庫ニ一時入レル目的ハ再ビ外國ニ輸出スル時ヲ豫期シタノデ輸入
 税額ヲ其所デ拂フト云フト再ビ出ス氣遣ハナイ、例ヘバ長崎ニ支那ニ行ク品
 物ヲ輸入シテ暫ク保税倉庫ニ置イテ浦潮斯朝鮮ノ景況ヲ見テ其上デ再ビ出
 ストキハ途中ニ在ル...「テルトワー、エー、トランゼイ」ト佛蘭西語デ云フ途

中ニ在ル者ト書イテアリマス、是ハ再ビ輸出スルトキハ保税倉庫法方デ考ヘ
 タ所ガ今度ノ葉煙草ノ如キハ再ビ内地ニ輸出シテ使フノデアアルガ地方ニ分配
 スル間保税倉庫ニ預ケテアル間輸入シタモノト看做サヌカラ税ヲ十割カケル
 ト云フコトハ是ハ當業者ノタメニ不幸ナ法律デアラウト思ヒマス、又斯ノ如
 キ税率ノ高クナルトカ下ルトカ云フ移リ變リノ時代ニハ此稅ヲ高クシテ葉煙
 草專賣ノ此法律ニ輸出シタモノハ假令保税倉庫ニ在ッテモ舊律ニ依ッテ取ルト
 カ云フヤウナコトガ或ハ至當デアアルマイカト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ

政府ニ御尋シタイノハ此三十三條ニハ「本法施行後葉煙草ノ讓渡ヲ受クルコ
 トヲ得サル者本法施行ノ際所有スル葉煙草ハ明治三十二年四月三十日迄ニ煙
 草製造ヲ業トスル者若ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者ニ讓渡スヘシ若シ此ノ期限
 ヲ過キ仍葉煙草ヲ所有セムトスル者ハ其種類ノ量目ヲ政府ニ申出テ認許ヲ受
 クヘシ」トアリマスカラ是ナドハ期限ヲ過ギテモ宜イガ輸入上ニ於テ外國カ
 ラ此三十三條ト同ジク繼令保税倉庫ニ居ッテモ再ビ外國ニ出サヌヤウニ葉煙

草ハ輸入シタ時デ既ニ税率ガ極ツテ居ルニ割五分、サウシテ引出スニハ八月六
 日以後ニ輸入シタモノハ...其前ナラバ宜イト云フ移リ替リノ時ハ特種ノ條
 項ガ必要ダラウト思ヒマス、殊ニ我輩悉クハ覺エヌガ亞米利加ノ如ク始終稅

關ノ稅率ヲ變更スルトキハ御承知ノ通海關稅ハ始終増減シテ居ル、其時ハ必
 ズ一條ヲ設ケテ、増減ニ關ハラズ此法律施行ノ前輸入シタモノハ舊率ニ依ル
 ト云フコトヲ私ハ覺エテ居リマスガ其邊カラ比較スルト隨分是ハ保税倉庫ノ
 第二條ニ規定スルト其他各種ノ輸入商ニハ非常ノ影響ヲ及シハシマセヌカト
 私ハ憂ヒマスガ、ソレハ及シテモ宜イ、期限ガ切レ、バ實業者ニ如何ナル重
 稅ヲ拂ハセテモ構ハヌト云フ御趣意デアリマス

○政府委員(目賀田種太郎君) サウ思フテ居リマスガ若シサウ言フニ今ノ御
 話ノヤウニ附則法ヲ可ナリト御覽ニナレバ別ニ御詮議ヲ願ヒタイ譯デアリマ
 ス

○金子堅太郎君 然ラバ私ハ本案ノ大體ニ附イテハモウ是ハ斯クスベキモノ
 デアル、葉煙草輸入ヲ政府デシテ全國同一ニスルト云フ此方針ニハ我々最モ
 贊成スル、ソレ故ニ大體ニ附イテハ...異存ハナイガドウカ一讀會デ今日ハ
 御止メニナツテ二讀會ハ委員長ト御協議シテ何トカ此修正案ヲシテ實業者ノ
 苦シマザル限修正ヲシタイト思ヒマスカラ政府モ幸御意見ガナイト云フト
 デアリマスカラ今日ハ一讀會ニ御止メヲ願ヒタイ

○議長(公費近衛篤磨君) 他ニ御發議モナケレバ第二讀會ニ移ルヤ否ヤノ決
 ヲ採リマス、本案第二讀會ニ移スト云フニ御異議ガナケレバ...
 (異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公費近衛篤磨君) 第二讀會ニ移スベシト決シマス、日本銀行納付金
 ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

○富田鐵之助君 議事日程ノ第五モ連帶ヲ致シテ委員ニ付託ニナリマシタ案
 デゴザイマスカラ此第五モ同時ニ報告致シタ方ガ簡便ト思ヒマスカラ差支ガ
 ナケレバ御宣告ナサルヤウニ願ヒタイ

○議長(公費近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、是マデノ先例ニ依リマスレバ
 東ネテ委員長ガ報告ヲナサル例ガゴザイマスカラ一向差支ナイト思ヒマス

(富田鐵之助君演壇ニ登ル)
 ○富田鐵之助君 委員長ノ細川侯爵ハ今日御闕席デゴザイマスカラ本員ヨリ
 委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマスデゴザイマス、此日本銀行納付金ニ關スル
 法律案ハ兌換銀行券條例中改正ニ關シマスル法律案ト相連帶シテ委員ニ御付
 託ニナリマシタ案デゴザイマシテ去月十日ニ委員會ヲ開キマシテ正副委員長
 ノ選舉ヲ致シマシタ、ソレヨリ十一日十四日ト兩度委員會ヲ開キマシテゴ
 ザイマス、十四日ニナリマシテ委員中ヨリ政府ガ興業銀行ヲ起スト云フ希望
 ヲ懷カレテ居ル答デアアルガ、此日本銀行トハ大ニ關聯シテアルコトデアアル
 ラ愈々、此興業銀行ノ條例ヲ此議會ニ提出サル、カ否ヤト云フコトヲ質問ニナ
 リマシタ、政府委員ノ答ヘラレマスルノニ折角調査中デアアル、併シ未ダ今議會
 ニ提出ニナルヤ、ナラヌト云フコトハハッキリ分ラヌ、斯ウ云フコトニ答ヘラ
 レタヤウニゴザイマス、就キマシテハ此案ノ調査ガ成ッテ此議會ニ提出ニナ
 ラル、カ、ナラヌカト云フコトノ取極ルマデハ此委員會ヲ暫ク中止シタイ、
 斯ウ云フコトニナリマシテ二週間委員會ハ中止ニナリマシタ、ソレヨリ本月
 ノ二日ニ委員會ガ開カレマシタノデアリマス、開カレマスト同時ニ政府ノ其
 興業銀行ノ模様ヲ委員ノ中カラ尋ネラレマシタ、所ガ大藏省ノ調査ハ既ニ
 結了シテアル、今内閣ノ議ニ付セラレテアルト云フダケヲ漏サレマシタノデ、

ソレヨリ此納付金ニ關シマス法律案ノ會議ニ掛リマシテ前會カラ引續キマシテ日本銀行ノ業務其外ニ附キマシテ隨分深ク議員諸君ガ調査ヲ盡サレマシタ

アル、寧ろ課稅スルヨリハ益、業務ノ擴張ヲサセテ金貨ノ回收、金利ノ低減ヲ計ル方ガ得策デアルト云フ論ガゴザイマシテ廢案說ヲ立テラレマシタ方ガ

ゴザイマシタガ、是ハ少數ヲ成立チマセヌデ仕舞ヒマシタ、衆議院ノ修正案

デナシニ政府ヨリ提出致サレタ案デアッテ詰リ現行ノ營業ノ消長ニ依ッテ納

付金ノ高ヲ極メルガ穩當ト云フ趣意ヨリシテ政府案ノ方ニ聊カ修正ヲ加ヘテ

成立チマセヌデ成立チマセヌデゴザイマシタ、其次ニ衆議院ノ修正案發行高

ニ對シテ發行稅トシテ一箇年千分ノ十五ノ割合ヲ以テ政府ニ納稅セシムル

云フノ千分ノ七トスルト云フ修正案ガ出マシタガ此案モ少數ヲ贊成ガ成立

タナイデ仕舞ヒマシタ、其次ニ千分ノ十ト云フ修正案ガ成立チマシテ多數ヲ

以テ可決致シマシタノデゴザイマシタ、ソレヨリ此日本銀行納付金ニ關スル

法律案ト云フ題號ニナツテ居リマスガ之ヲ日本銀行納稅ニ關スル法律案ト斯

ウ修正ニナリマシタ此二箇條ダケデ本案ニハ外ニ修正ハゴザイマセヌ、是デ

多數ヲ以テ委員會ハ通過致シマシタ、次ニ議事日程ニゴザイマセヌ第五、免

換銀行券條例中改正法律案是ハ政府案ノ通ニ多數ヲ以テ可決ニナリマシテゴ

ザイマセヌ、此段委員會ノ經過ヲ御報告致シマス

○三浦安君 質問ガゴザイマセヌ「千分ノ十五」ノ「五」ヲ削ッテ「十」ニ修正ヲ致

サレマシタ理由ハ如何デアリマスカ御陳述ヲ願ヒマス

○富田鐵之助君 詰リ「十五」デハチト稅ガ太過ギルト云フ趣意デゴザイマ

ス、外ニ理由ハゴザイマセヌ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○子爵堤功長君 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 直ニ二讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) ソレデハ直ニ三讀會ヲ開キマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 原案ニ附イテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) ソレデハ可決致シマス、次ニ兌換銀行券條例中

改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス

○松永安彦君 本案ニ對シテ諸君ニ於キマシテモ御異議ハナイト思ヒマスカ

ラ讀會ヲ省略シテ速ニ可決アラランコトヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 贊成

○伯爵勸修寺顯允君 贊成

○子爵本莊壽巨君 贊成

○男爵中川與長君君 贊成

○角田林兵衛君 贊成

○周布公平君 贊成

○田中源太郎君 贊成

贊成

〔其他〕贊成ト呼フ者數名アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 讀會省略ノ勸議ハ成立チマシテゴザイマセヌ、此

勸議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略致サレマ

シタ、是ハ朝讀モ省略致シマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 本案ニ附イテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) ソレデハ可決致シマス、次ニ特許法案、政府提

出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔子爵長岡護美君演壇ニ登ル〕

○子爵長岡護美君 特許法案ト意匠法案ト商標法案、此三ノ法案ハ本員等委

員ノ選ニ當リマシタテ特別ニ調査ヲ致シタノデアリマス、是ハ三案トモ極意

味ノ關聯シタ案デアリマシテ御報告ダケハ却テ一括シテ述ベテ置キマシタ方

ガ御都合ガ宜カラウト思ヒマスデ三ツトモ一ツニ御報告ヲ致シテ置キタイト

考ヘルデアリマス、是ハ世界ノ文明社會ノ眼カラ見マスト發明者ノ權利保護

ハ誠ニ重要ナ問題デアリマス、一體明治二十一年ニ現行ノ條例ヲ施行サレテ

アリマスデ其頃ニモ元老院デモ十分ニ審議ヲシマシテ、サウシテ成ルベキダ

ケ發明者ノ權利保護ハ全キヲ得セシムルト云フコトニ定ツタノデアリマス、然

ルニ段々時勢ノ變遷ニ伴ヒ又既二十一年モ經過シテ居リマスルデ此規則ノ改

正ハ必要ノ場合トナツテ來タノデアリマス、今日ハ又改正條約ノ實施ノ期モ

逼ツテ居リマスシ又萬國工業所有權保護同盟ニ加入スルトニ我帝國モナ

ラ

テ居リマスデ尙更此權利者ノ保護ハ内外人一樣ニ保護ヲ與ヘナケレバナラヌ
場合ニナラテ參ッテデアリマス、ウレ故ニ此度尙更政府ニ於テモ注意シテ
此法案ヲ立テラレタ譯デアリマス、委員會モ實ハ四回ノ討議ヲ盡シ
マシテ或ル日ハ午前十時カラ點燈ニ至ッテ散會シタコトデアリマス、デ澤山
此案ノ中ニハ新設ナモノモアリマスガ、此重モナル條ハ此特許料ノ取り方デ
アリマス、是ハ今度少シ高クナッテ居リマスルガ、併ナガラ是ハ今度ハ
年ニ割ッテ取り立ルコトデアリマスルシ、現行條例ヨリ今度ハ少シ其取方ハ
高クシテモ年ニ割ッテサウシテ十五年ノ期限内ニ取ルノデアリマスルカラ此
位ノモノハ取ッテ差支モアルマイ、是モ各國ノ比例ヲ取ッテ内閣デハ今度定
メラレタ譯デアリマス、其他今日ハ外國人ノ信用ガ重モナル譯デア
リマスカラシテ此法律ニ爭點デモアレバ即チ大審院ニ上告ノ途ガ開イテアル
ノデアリマス、是ガ實ハ最モ重モナル點デアリマシテ委員會デハ此議論ハ大
分喧シカッタデアリマス、一段々獨逸或ハ澳地利國ノ利益ヲ國デハ控訴
院ニ此事實ノ判定ヲモサセ又審判ノ後ニ其審判ニ不服ガアレバ上告モ許シテ
アルノデアリマス、是ハ矢張普通ノ裁判所ニ持出シテ事實ノ判定モ請フガ法
律ノ完全ナルト云フ方カラ申シテ見ルト至當デアラウト考ヘルノデアリマス
ルガ、一體此特許杯ト云フモノハ審判官ニ成ルタケ重キヲ置カネバナラヌト
云フ性質ノモノデアリマシテ、ウレコデ此審判官ニハ即チ技術ニ精シイ大學ノ
教師ナリ學士ナリ又裁判所デモ成ルベクダケ其法律ニ明カナル人ヲ矢張選ッ
テ審判ヲサセル譯デアリマシテ、始メ審査官ガ其發明者ニ特許ヲ與ヘルカ與
ヘヌカト云フコト十分ニ査定官デ調ベテウレカラ其後ニ審判官ヲ置イテ、
其審判官ニハ成ルベクダケ適當ナ人ヲ選ンデ審判ヲサセルノデアリマシテ、
事實ノ判定ハ實ハ是ガ一番肝要ナ譯デアラウト考ヘルノデアリマス、サウ云
フ譯デ既ニ査定官ガ査定シタモノニ不服アル者ガアレバ即チ此審判官ヲ立
テ、此審判官デ即チウレ再審スルト云フコトニナッテ居ル譯デアリマスカラ
其後又之ヲ普通ノ裁判所ニ持出サレルガ法律上カラハ完全ダガ實際ハ審判官
ニ一ツ十分ノ權ヲ與ヘテ置カヌト却ッテ安全ナル判定ハ與ヘルコトガムヅカ
シカラウト云フコトデアリマス、ウレデ段々ウレモ議論ガアリマシテ成ルベ
クダケナラバ此法律ヲ完全ナラシムルガタメニドウカ事實ノ判定モ他ノ普通
裁判所ニ持出スコトニシタイト言フ議論モアリマシタ、併シハ段々内閣員
ノ方ニモ質問モ致シ交渉モ致シタデアリマスガ先ヅ今日ハドウモ控訴院等ノ
手續ナドガサウナルト段々ト矛盾シテ來ルコトガアルノデアリマス、又一ノ
例ヲ舉ゲテ申シテ見マス即チ此控訴院ニ例ヘバ事實ノ判定ヲ仰グニシテモ
矢張其特許局ノ審判官トカ或ハ鑑定人トカ云フ者ヲ加ヘヌトドウシテモ裁決
ヲ與ヘルト云フ場合ニナラヌノデ、サウ云フ一種異様ノ例ヲ一ノ裁判所ニ開
ケバ又他ノ事件ニ就イテモ亦他ノ裁判デモ異様ノ例ヲ開カネバナラヌト云フ
コトニナリマス、デ追ッテハ到底特別ノ裁判所デモ設ケルカ或ハ此手續等モ
調ベテ十分ニ他日此事ハドウカシタイ、如何ニモ各國ノ條約改正實施ノ期モ
追ッテ居リマスシ前ニモ申上ゲマシタ如ク萬國工業所有權保護同盟ノ期モ
於テハ十分ナル修正ヲ加ヘテ提出スルト云フ斯ウ云フ政府ノ希望デアリマ
ス、デラレナラバ先ヅ今日此位ノコトニシテ置ッガ至當デアラウト斯ウ私共

ハ考ヘマシタカラウレニ就イテ僅ノ修正ヲ加ヘテ此議場ニ今日ハ提出シテ御
報告申ス次第デアリマス、此修正ハ實ハ僅ノ修正デアリマシテ特許法ノ第一
條是ハ其唯物品ト方法ヲ區別シテ舉ゲタ方ガ宜カラウ、如何トナレバ此第二
條邊ノ項ヲ分ケテ掲ゲテアル所ニハ或ハ此方法ト云フ字ハ當ル所モアリ又當
ラヌ所モアリマス、デ却ッテ滿場諸君ノ御疑感モアラウシ又一般人民ガ見テ固
ヨリ疑感モアラウカト云フ所カラシテ是ハ修正ヲ加ヘタノデアリマス、
ウレカラ此三十二條、是ハモウ唯裁判所構成法ノ文字ヲ準用シテ使フ譯デア
アリマシテ、意味ハハチツトモ變ラヌノデアリマス、唯此書キ方ヲ裁判所構成
法ノ例ニ依ッテ改メタニ止ッテ居ルノデ、其他ハモウ御覽ノ通僅ノ字ヲ改メ
マシタニ止ッテ居リマス、唯此五十一條ヲ削除シタノモ是モ矢張モウ其實ハ
「未成年者」ト云フヤウナコトヲ此所ニ掲ゲテ置キマシテモ、是ハ既ニ普通ノ
刑法ニ掲ゲテアルコトデアリマスカラ此處ニ是非置ク必要モアリマスマイシ
又法人ガ罪ヲ犯シタト云フヤウナコトモ、是モ既ニ他ノ法律ニ制定シテアル
モノヲ此所ニ掲ゲルトドウモ少シ却ッテ又不都合ヲ來タサウト思ヒマスカラ
モウ此一般ノ法律ニ讓ッタ方ガ宜カラウト是ダケノ修正デアリマス、
ハ少シ足ラヌ所ヲ補フタダケノ話デアリマシテ、チヨット諭ヘテ申セバ此第
二十條ニ「他人ノ登錄商標ヲ侵害スヘキ物品ナルコトヲ知リ」ト云フヤウナ
コト、其他モ文字ガ少シ明カデナイトカ或ハ意味ノ少シ足ラヌト云フヤウナ
所ヲ補フタニ過ギナイノデアリマス、商標法案モ致ッテ簡短ナ修正デアリマ
スカラ條ニ就イテ御尋ガアレバ御答モ致シマセウガモウ別ニ御報告スル必要
モアルマイカト考ヘマス、一體皆様モ御承知ノ通此特許法ト云フモノハ矢張
此今日文明諸國デモ未ダ其他ノ法律ニ較ベマスレバ餘程幼稚ナ鹽梅モアリマ
セウ、固ヨリ亞米利加ノ如キハ發明品ノ多イ所デアリマスカラ餘程是ハ完全
ニナッテ居ルカト考ヘマスガ是ハドウモ矢張漸次改正ヲ加ヘテ行カナケレバ
ナラヌコト、マア法律ノ一體ノ性質カラ論ジテ見レバ我々モハ考ヘルノデ
アリマス、勿論今日ノ改正モ全ク精神ハ初メ定メラレタ所ノ現行條例ノ精神
ト少シモ變テ居ラヌノデアリマス、唯今ノ時勢ニ伴フテ修正ヲ加ヘラレハ
此條約改正ノ實施ノ期ニ迫リ又萬國工業所有權保護同盟ニ加入スルトカ外
國ノ關係モ多クナッタ所カラ必要ヲ感ジテ今日マデノ所デ定メラレタノデア
リマスカラ是ハ漸次又改正ヲ加ヘラレ、又益々我國ノ發明者ノ權利ヲ保護サル
ルト共ニ外國人ノ信用ヲ十分招カレテ内外國人ノタメニ發明者ノ權利ヲ十分
ニ保護サレルコト、我々モハ信ジマシテ此案デ可決上奏ニナランコトヲ希
望スルノデアリマス、御質問ガアレバ御答致シマスガ先ヅ一應是ダケ御報告
致シマス

○田中芳男君 政府委員ニ御尋シタウゴザイマス、唯今特別委員長ノ御報告
ニ依リマシテ本員ノ疑問ヲ起シテ居リマス所ガ大キニ解リマシテゴザイマス
然ルニ未ダ其外少シ合點ノイカ又所ガゴザイマスカラ、先般來特別委員會ノ
速記録ヲ拜見致シマシタガドウモ速記録デモ分リ兼ル所ガゴザイマスカラシ
テ政府委員ノ御答辯ヲ煩シタイト考ヘマス所ガ二三箇條ゴザイマス、其中ノ
重ナルモノハ先ヅ此特許法ノ第一條ノ「方法」ト云フ文字ニ附イテ伺ヒタ
イ、現行法ニハ方法ト云フ字ハドウモナイヤウニ思ヒマスガ此度方法ノ文字

ガ新ニ這入リマシタ、然ルニ此方法ト云フコトハ今日マテ實際行レテ居ルヤウニ考ヘマス、何ゼナレバ方法ニ附イテ特許ヲ得テ居ルモノモ往々知ツテ居リマス、故ニ是ハ方法テモ矢張特許ヲ得ラル、コト、思ヒマス、併ナガラ從前ハ方法ト云フ文字ガナクトモ相濟シタガ、此度ノ改正案テ明文ヲ掲ゲナケレバナラヌカラ方法ト云フ文字ヲ入レタト云フ斯ウ云フコトデアラウト考ヘマスガ此方法ノ字ガ始テ出マシタニ附イテ之ヲ伺ヒタイ、次ニ「最先ノ發明」ト云フコトガアル此最先ノ發明ト云フノハ所謂ワットガ蒸氣ヲ發明シタト云フヤウナノガ最先ノ發明デアアルカ、今ノ機械紡績ニナツタノガ其次ノ發明トスウ云フノガ最先ノ發明デアアルカ、此最先ト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ其次ノ「承繼人」ト申シマスノハ例ヘテ申シマス親ガ半バ發明ヲ致シテ製作シカケタ物ヲ果サズシテ死シタ其子ガ其志ヲ承ケ繼イテトウ、其機械ヲ成就シタト云フノガ承繼人デアリマセウカ、此承繼人ハドウ解釋シテ宜シウゴザイマセウカ、私ノ解釋ガ間違ッテ居リマスヤ否ヤト云フコトヲ御尋シタイ、ソレカラシテ今度新ニ這入リマシタ一條ノ二項モアリマス「擴布」ト云フ文字デアリマス「擴布」ト云フ文字ハ方法杯ニハ唯今擴布ト云フニ當ッテ居ルヤウナコトヲ存ジテ居リマスガ擴布ト云フ一ノ方法ヲ特許ヲ得レバソレヲアチラヘ行テ傳習シコトヲ行ッテ傳習シテサウシテ其授業料トカ報酬トカ云フモノヲ取ッテ居リマスガ、サウ云フ風ナ諸方ヘ涉ッテ分遣致シマスルヤウナコトガ擴布ト云フコトデアラウト思ヒマスガ此「擴布」ノ文字ニ附イテ御尋ネ致シマス、ソレカラ次ニ「報酬」ト云フ文字ガアリマスガ此報酬ヲ受ケルコトハ所謂此擴布分遣シテソレカラ向ウカラ報酬ヲ取ルト云フ譯デ此報酬ト云フモノハ擴布ト云フ文字ニ大變聯絡シタ文字デアリマスガソレモ伺ヒタイ、詰リ此報酬ト云フ文字ハ十六條十七條十八條アリニアリマス所ノ報酬ト云フモノハバカリデゴザイマス、唯今擴布スルト云フコトニ用ヒマス報酬デアリマスカ、其報酬ト云フノ文字ノ應用サレマス區域ヲ承リタウゴザイマス、又三十九條ニ此特許料ノコトニ附キマシテ本員モ詳シク承リタウゴザイマシタガ唯今委員長カラ御辯明ガゴザイマシテ是ハ分リマシタ、尙ホ意匠法ヤ商標法ニ附キマシテ御尋ネシタイコトモアリマスガソレハ其案ノトキニ伺ヒマス、此今伺フ所ハ第一條ニ附キマシテノ箇條ノ御答辯ヲ願ヒタイ

(政府委員藤田四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(藤田四郎君) 唯今田中君ノ御尋ニ附キマレテ御答致シタイト思ヒマス、特許法ノ第一條ニ於キマシテ第一ノ御尋ニハ此「方法」ト云フ字デアリマスガ田中君モ既ニ御承知ノ通現ニ今日ニ於キマシテアル事柄デアリマス、是ハ現行條例ニハ「工術」ト云フ字ガ第一條ニ載ッテ居リマス即チ矢張同ジコトデゴザイマスル各國ノ法律等ヲ斟酌シマシテ此字ニ極メマシタノデアリマス、即チ近今ノ法律ノ書キ工合ハ多ク斯ウ云フ類例ニナツテ居ルノヲ見マス、次ニ「最先發明」云々ト云フ字デゴザイマスガ是ハ唯今マデハ斯ウ云フ字ハゴザイマセウデ唯「新規有益」ト云フ字ガ使ッテゴザイマスガ今日ニ於キマシテハ特許ノコトニ附キマシテ各國ノ典例ガ或ハ其出願ノ前後或ハ發明ノ完成、出來上リノ前後ニ依ッテ許スト云フコトニ附イテ段々議論ガゴザイマシテ遂ニ今日此案ニ於テ採リマシタ所ハ特許ノ發明ヲ一番ニ完成シタ人ニ

特許ヲ與ヘル方針デアツテ、脇ノ人ハ出願ヲ早クシタカラト云フテ與ヘナイ斯ウ云フ方針ノ間ニ此字ガ出マシタノデアリマス、ソレカラ「承繼人」是ハ即チ權利ノ移轉ニ附キマシテノ繼承デアリマシテ即チ普通申ス相續ノ如キトカ或ハ其發明ヲ買上ゲルトカ賣買シタ結果ト言フ譯ニナリマス、其方ノ趣意デゴザイマス、ソレカラシテ「擴布」ト云フ字デゴザイマス、第二項ニゴザイマス是ハ假令テ申シマスト廣告スルトカ引札杯ヲヤリマス事柄ヲ申スノデアリマス、ソレカラ又十七八條ノ報酬ト云フ字デアリマスガ此十六條十七條十八條等ニゴザイマスガ詰リ是ハ發明ノ利用其他發明ヲ制限スルトキニ對シテノ報酬ノ意味合デゴザイマス

○田中芳男君 尙ホ伺ヒマス、大體ハ了解致シマシテゴザイマスガソレニ附イテ尙ホ申シマス、先刻チヨット申シマシタ通ニ此最先ノ發明ト云フコトニ附キマシテモウ少シ伺ヒタイト存ジマス、唯今機械紡績ト云フモノガアツテ大イナル事業ヲ爲シテ居ル、其源ト云フモノハ即チ絲線車デアツテブン、ヤツテ居ルモノガ一番初ノ發明デアツテ、其初ノ發明ガ即チ最先ノ發明デア、ソレハイツ頃ノ發明デアアルカ千年二千年三千年デアアルカ其コトハ古イコトデ分リマセウガ、例ヘバ此最先ノ發明ト云フ字ヲ見マスルト即チ絲線車ヲ發明シタノガ最先ノ發明デ機械紡績ハモウソレカラ承繼イダモノト斯ウ申シテモ宜シイヤウニ思ヒマスガ即チサウナリマスル譯デゴザイマスカ

○政府委員(藤田四郎君) 御答致シマスルガサウ云フ譯デアハゴザイマセウ、此發明ト云フコトニ就キマシテハ總テ其發明ノ特許ヲ保護セラル、所ニ依ルト云フコトデゴザイマス、其依ルト云フコトニ附イテ特許ヲ受ケルノデゴザイニスルカラ即チ其發明ノ要件トナル所ノ廉ニ就イテ其特許ヲ得ルノニ誰ガ得ラレカト云ヘバ即チソレハ一番初ニ完成シタ人ガ得ルト云フコトニナリマスノデ、或ハ他ノ人ノ後カラ完成シタ人デモ願ノ手續ヲ早クシテ誤ッテ許可セラル、コトガアツタトキハ即チ初ニ出來上ツタ人ガ訴ヲ起シマスレバ其人ハ調ベタ上デアトカラ願ッテモ其方ニヤルコトニナリマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 御質問ガナクバ第二讀會ニ移ルヤ否ヤヲ決シマス、本案第二讀會ニ移シテ御異議ハゴザイマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

然ラバ第二讀會ニ移リマス

○伯爵大原重朝君 直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ……

○男爵西五辻文伸君 贊成

○男爵中川與長君 贊成

○伯爵勸修寺顯允君 贊成

(其他「贊成」ト呼フ者多シ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 直ニ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

然ラバ直ニ開キマス、第一條ヲ問題ニ供シマス

(小原書記官朗讀)

第一條 工業上ノ物品及方法ニ關シ最先ノ發明ヲ爲シタル者若ハ其ノ承繼人ハ此ノ法律ニ依リ特許ヲ受ケルコトヲ得

特許ハ特許ヲ受ケタル者ニ限リ其ノ發明ノ物品及方法ヲ製作使用販賣若

ハ擴布スルノ權利ヲ有セシム
方法ノ發明ニ係ル特許ハ同一方法ニ依リ製作セラレタル物品ニ及フモノトス

(特別委員修正案)

第一條 工業上ノ物品及方法ニ關シ最先ノ發明ヲ爲シタル者若ハ其ノ承繼人ハ此ノ法律ニ依リ特許ヲ受クルコトヲ得
物品ノ發明ニ係ル特許ハ特許ヲ受ケタル者ニ限り其ノ發明ノ物品ヲ製作使用販賣若ハ擴布スルノ權利ヲ有セシム
方法ノ發明ニ係ル特許ハ特許ヲ受ケタル者ニ限り之ヲ使用若ハ擴布スルノ權利ヲ有セシム但シ其ノ特許ノ效力ハ同一方法ニ依リ製作セラレタル物品ニ及フモノトス

○田中源太郎君 チョット注意シテ置キマスガ此報告書ニハ修正ガアリマスガチョットモ修正シテナイノガ澤山回ッテ居リマス、ソレデ修正シタ案ヲツタ方モアリ、修正シナイ案ヲ持ッテ居ル方モアリマス、餘程脱落シテ居マス、ソレダケチョット御注意シテ置カヌト決議ノ模様ガ變ラウト思ヒマスカラチョット御注意致シテ置キマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 第一條ニ附イテハ委員ノ修正ガアリマスガ此委員ノ修正ニ附イテハ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者多シ)

然ラバ委員ノ修正ニ決シマス、ソレカラ第二條カラ第十二條マデヲ問題ニ致シマス、ソレデ此中ニハ委員ノ修正ノナイ箇條モ含蓄シテ居リマス、ソレデ朗讀ハ委員ノ修正ノアル箇條ニ限ッテ朗讀ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

第二條 左ニ掲クル發明ハ特許ヲ受クルコトヲ得ス

(特別委員修正案)

一 飲食物、嗜好物
二 醫藥又ハ其ノ調合法
三 秩序又ハ風俗ヲ紊ルノ虞アルモノ
四 特許出願前公ニ知ラレ又ハ公ニ用井ラレタルモノ但シ試験ノ爲ニ二年以内公ニ知ラレタルモノハ此ノ限ニアラス

第十二條 特許ヲ出願シタルトキハ特許局審査官其ノ發明ヲ審査ス

(異議ナシト呼フ者多シ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 委員ノ修正ニ附イテ御異議ハゴザイマセヌカ
ソレデハ委員會ノ修正ノ通決シマス、第十三條ヨリ第二十六條マデ問題ニ供シマス、朗讀ハ省略シマス、是ハ原案ニ附イテ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者多シ〕
然ラバ原案ノ通決シマス、第二十七條ヨリ第三十七條マデ

(小原書記官朗讀)

(特別委員修正案)
第二十七條 前條ノ出願アリタルトキハ審査官之ヲ審査ス
前項ノ場合ニ於テ審査官ノ査定ニ不服アル者ハ第二十三條ニ依リ再審査ヲ請求スルコトヲ得

第三十一條 特許局ノ審査、審判及報酬額ノ決定ニ關シ必要アルトキハ特許局ハ當事者ノ申立ニ因リ證據調ヲ爲シ又ハ所要ノ事務ヲ取扱フヘキ地ノ區裁判所ニ證據調ヲ囑託スルコトヲ得
前項證據調ニ關シテハ民事訴訟法第二編第一章第五節乃至第十一節ノ規定ニ準用ス

(特別委員修正案)

第三十二條 特許局ニ於テ審判スヘキ事件ハ審判官三人若ハ五人ヲ以テ之ヲ審判ス其ノ三人若ハ五人中ノ一人ヲ審判長トス
審判ノ審決ニハ理由ヲ付スルコトヲ要ス
○子爵長岡護美君 チョット先刻申落シマシタデ、皆様ヘチョット一口申上ゲタ方ガ宜シイト思ヒマス、此三十一條ニ「長又ハ審判長」ト云フ六字ヲ除キマシタガ、是ハ全ク裁判所構成法ト一ツニ致シタ譯デゴザイマシテ、一體裁判所構成法ハ官ヲ指サズシテサウシテ局ヲ指シテアルノデアリマシテ、ソレデ此六字ヲ削ッテ譯デアリマスカラチョット是ダケ申シテ置キマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 唯今問題ニ供シマシタノハ委員ノ修正ノ通御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者多シ〕
ソレデハ此通決シマス、第三十八條ヨリ終マデ問題ニ供シマス

(小原書記官朗讀)

第三十八條 特許ヲ受ケタル發明ニシテ左ノ場合ニ該當スルモノアルトキハ特許局長ニ於テ其ノ特許ヲ取消スコトヲ得

(特別委員修正案)

一 特許證主正當ノ事故ナクシテ特許證ノ日付ヨリ三年ヲ經ルモ帝國内ニ於テ其ノ發明ヲ實施公行セサル場合又ハ三年以上其ノ實施公行ヲ中止シタル場合ニ於テ第三者ヨリ相當ノ條件ヲ付シテ其ノ讓受若ハ使用ヲ請求スルモノ之ヲ拒絕シタルトキ
二 特許證主特許料納付期限後六十日ヲ經過スルモ仍其ノ納付ヲ怠リタルトキ
三 特許證主正當ノ事故ナクシテ六箇月以上第六條ノ代理人ヲ置カサルトキ

第四十條 特許料ハ毎年一年分ヲ特許證ノ日付ニ應當スル日ニ於テ前納スヘシ第一年ニ係ルモノ及追加特許料ハ特許査定書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ之ヲ納ムヘシ
前納セシ特許料ハ之ヲ還付セス但シ一時ニ二年分以上ノ特許料ヲ前納シタル場合ニ於テハ未タ其ノ納付期限ニ至ラサルモノニ限り之ヲ還付ス

第四十三條 特許ニ關スル書類ノ謄本、圖面ノ複製又ハ特許原簿ノ一覽ヲ要スル者ハ特許局ニ請求スルコトヲ得但シ秘密ヲ要スルモノハ此ノ限ニアラス

第四十九條 特許證主特許標記ヲ付スルコトヲ怠リタルトキハ其ノ特許品タルコトヲ知リテ其ノ權利ヲ侵害シタル者ニ對シテノミ要償ノ訴ヲ爲スコトヲ得

第五十一條 此ノ法律ニ定メタル書類ノ送付ハ書留郵便又ハ特許局ノ使丁ヲ以テ之ヲ爲ス此ノ場合ニ於テ郵便配達人及特許局ノ使丁ハ民事訴訟法ノ送達吏ト準視ス

附則

第五十二條 此ノ法律ハ明治三十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
第五十三條 明治二十一年勅令第八十四號特許條例ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

專賣特許條例及特許條例ニ依テ受ケタル專賣特許若ハ特許ハ其ノ年限間此ノ法律ニ依テ受ケタル特許ト同一ノ效アルモノトス
特許ニ關スル出願又ハ請求ニシテ此ノ法律施行ノ日マテニ處分ヲ終ラサルモノハ此ノ法律ニ依リタル出願又ハ請求ト看做シ處分スヘシ
副議長(侯爵黒田長成君) 第三十八條ヨリ終尾マデ委員ノ修正通御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト述フル者アリ
副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ是デ第二讀會ハ終リマシタ

伯爵大原重朝君 續イテ第三讀會ヲ開カレンコトヲ……
男爵西五辻文仲君 贊成

〔贊成〕ト述フル者アリ
副議長(侯爵黒田長成君) 直ニ第三讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト述フル者アリ
副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ直ニ開キマス、朗讀ハ省略シマス

〔異議ナシ〕ト述フル者アリ
副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

副議長(侯爵黒田長成君) ソレデハ是デ確定致シマス、次ニ意匠法案、政府提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス

○田中芳男君 此意匠條例ニ附キマシテ聊カ政府委員ニ御尋シタウゴザイマシガ、此度始メテ第二條ニ設ケラレタコトデゴザイマスガ是ハ定メテ今日マデ意匠條例ニ照シテ許可ニナツテ居リマシタコト、考ヘマシタガ、之ニ類似ナコトデゴザイマシテ嘗ヘテ見マシタル勳章トカ或ハ褒章トカ若クハ博覽會共進會カラ贈ツタル所ノ賞牌若クハ賞狀ノ如キモノモ隨分摸造同様ノモノヲ拵ヘテ用ヒテ居ルコトガ往々ゴザイマスルガツレ等ノモノハ今日マデ意匠條例ニ照シテ願ヲ出シテ許可ヲ得タト云フコトモアリマスルデゴザイマスカ、其ヤウナコトハ決シテナイ、ナイカラ是ハ心配ハナイト云フノデゴザイマスカ、唯同一ノモノヲ拵ヘテ意匠條例ニ照シテ願フ際ニ唯菊花御紋章サヘ押ヘテ置ケバ他ニ心配ハナイト云フノデゴザイマスカ、其ヤウナモノニ類似シタモノヲ願出シタコトハナイト云フ譯デゴザイマスカ、其邊ノモノガ往々許可ヲ得テ居リマスカ、其邊ヲ承リタウゴザイマス

(政府委員柳谷謙太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(柳谷謙太郎君) 御答ヲ致シマス、茲ハ御紋章ハ勿論是ハ許シマセヌノデアリマス、唯今御話ノ博覽會等デ勳章ノ如キモノ、意匠ヲ願出マシタモノハ更ニアリマセヌ、其意匠ノ登録ヲ致シタモノモアリマセヌ、此後トテモ矢張許シマセヌ積デアリマス、ソレデ即チ此第二條ノ第二項デ拒絕致シマス積デアリマス

○男爵西五辻文仲君 此案ノ讀會省略ノ動議ヲ提出致シタウゴザイマス
○周布公平君 贊成

○下條正雄君 贊成

○名村泰藏君 チョット政府委員ニ承ツテ置キタイ、此十九條ノ罰則ノ所ニ六箇月以下ノ重禁錮トアリマス、此最下點ガ示サレテ居リマセヌガ是ハ全ク誤植デアリマセウト思ヒマスガ一ツ政府委員ニ此最下點ヲ示サレナカッタノハドウ云フ譯デアリマスカ、チョット承ツテ置キタウゴザイマス

(政府委員藤田四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(藤田四郎君) 唯今名村君ノ御尋デゴザンスルガ意匠法案ノ第九條デゴザイマスルガ、六箇月以下ノ重禁錮ト云フコトニ附キマシテハ、是ハ重禁錮ノ最下限カラ六箇月マデノ所ノ意味合デゴザンスルガ、他ノ類例ニ依リマスルト或ハ十一日以上ト云フコトガ這入ツタ方ガ或ハ宜カラウト思ヒマス、チヨット御參考ノタメニ申上ゲマス

○名村泰藏君 唯今讀會省略ノ動議ガアリマシタガ六箇月以下ノ重禁錮、此所ニ現行法デハ、現行法ノ二十三條ニ二十五日以上六箇月以下ト斯ウ現行法ニハアリマス、ソレデ現行法ノ通ニ二十五日以上ト云フコトヲ第二讀會ノトキニ修正案ヲ提出シタイト思ヒマスカラ、讀會省略ハ御採用ニナラヌヤウニ致シタウゴザイマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 修正説ガ提出ニナルヤウナコトニ承リマスカラ讀會省略ハ控ヘタ方ガ宜シカラウト思ヒマス、ソレデ第二讀會ニ移ツテ御異論ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト述フル者アリ

○男爵中川興長君 議事日程ヲ變更セラレテ直ニ第二讀會ヲ開クコトニ願ヒマス

伯爵大原重朝君 贊成

○子爵小笠原壽長君 贊成

○副議長(侯爵黒田長成君) 直ニ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト述フル者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) ソレデハ直ニ第二讀會ヲ開キマス

○名村泰藏君 議長

○副議長(侯爵黒田長成君) チヨット御待チ下サイ、尙ホ名村君ニ承リマスガ唯今ノ修正ハ何條デゴザイマスカ

○名村泰藏君 第十九條

○副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ第一條ヨリ第十八條マデヲ問題ニ致シマス、サウシテ朗讀ハ總テ省略致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス以下皆同シ)

意匠法

第一條 工業上ノ物品ニ應用スヘキ形状、模様、色彩又ハ其ノ結合ニ係ル新規ノ意匠ヲ按出シタル者若ハ其ノ承繼人ハ此ノ法律ニ依リ意匠ノ登録ヲ受ケ之ヲ專用スルコトヲ得

第二條 左ニ掲クル意匠ハ登録ヲ受クルコトヲ得ス

一 菊花御紋章ト同一若ハ類似ノ形状、模様ヲ有スルモノ

二 秩序又ハ風俗ヲ紊ルノ虞アルモノ

三 意匠登録出願前公ニ知ラレ又ハ公ニ用井ラレタルモノ若ハ之ト類似

第三條 意匠專用ノ年限ハ十年トシ原簿登録ノ日ヨリ起算ス但シ類似意匠ノ専用年限ハ原意匠ノ有效年限ニ伴フ

第四條 意匠ノ専用ハ農商務大臣ノ定ムル類別ニ從ヒ出願人ノ指定シタル物品ニ限ル

第五條 他人ノ委託又ハ雇主ノ費用ヲ以テ按出シタル意匠ニ係ル登録出願ノ權利ハ其ノ委託者若ハ雇主ニ屬ス但シ別ニ契約アル場合ニ於テハ此ノ限ニアラス

第六條 意匠專用權ハ制限ヲ付シ若ハ付セスシテ讓渡シ若ハ共有ト爲シ又ハ質權ノ目的ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ特許局ニ請求シ其ノ登録ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七條 特許局ノ官吏ハ在職中意匠專用權ヲ有スルコトヲ得ス但シ相續ニ因リ之ヲ取得シ又ハ在職前ヨリ之ヲ有スルトキハ此ノ限ニアラス

第八條 意匠ノ登録ヲ受ケントスル者ハ一意匠毎ニ其ノ意匠ヲ應用スヘキ物品ヲ明記シ雛形、見本若ハ圖面ヲ添ヘ特許局長ニ出願スヘシ

第九條 二人以上同一又ハ相類似スル意匠ノ登録ヲ出願スル者アルトキハ出願ノ先ナルモノヲ登録ス其ノ同時ノ出願ニ係ルモノハ共ニ之ヲ登録セ

第十條 工業所有權保護同盟條約國ニ於テ意匠登録ヲ出願シタル者四箇月以内ニ同一意匠ニ付登録ヲ出願スルトキハ其ノ出願ハ最初出願ノ日ニ於テ之ヲ爲シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第十一條 登録ヲ受ケタル意匠ニシテ第一條第二條第五條又ハ第九條ニ違反シタルモノナルトキハ其ノ登録ヲ無効トス

第十二條 登録ヲ受ケタル意匠ニシテ左ノ場合ニ該當スルモノアルトキハ特許局長ニ於テ其ノ登録ヲ取消スコトヲ得

第十三條 意匠登録證主ハ意匠料トシテ各意匠ニ付第一年ヨリ第三年マテハ毎年金三圓第四年ヨリ第六年マテハ毎年金五圓第七年ヨリ第十年マテハ毎年金七圓ヲ納ムヘシ

第十四條 類似意匠ノ登録ヲ受ケタルトキハ各類似意匠ニ付一時ニ金三圓ヲ納ムヘシ

第十四條 意匠料ハ毎年一年分ヲ登録證ノ日付ニ應當スル日ニ於テ前納スヘシ第一年ニ係ルモノ及前條第二項ノ意匠料ハ登録査定書到達ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ納ムヘシ

第十五條 意匠料ハ毎年一年分ヲ登録證ノ日付ニ應當スル日ニ於テ前納スヘシ第一年ニ係ルモノ及前條第二項ノ意匠料ハ登録査定書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ之ヲ納ムヘシ

第十六條 意匠料ハ未タ其ノ納付期限ニ到ラサルモノニ限り之ヲ還付スシタル場合ニ於テハ未タ其ノ納付期限ニ到ラサルモノニ限り之ヲ還付ス

第十七條 意匠料ハ未タ其ノ納付期限ニ到ラサルモノニ限り之ヲ還付ス

第十八條 前條ノ場合ニ於テ沒收シタル物件ハ之ヲ意匠登録證主ニ給付ス

第十九條 前條ノ場合ニ於テ沒收シタル物件ハ之ヲ意匠登録證主ニ給付ス

第二十條 前條ノ場合ニ於テ沒收シタル物件ハ之ヲ意匠登録證主ニ給付ス

第二十一條 前條ノ場合ニ於テ沒收シタル物件ハ之ヲ意匠登録證主ニ給付ス

第二十二條 前條ノ場合ニ於テ沒收シタル物件ハ之ヲ意匠登録證主ニ給付ス

第二十三條 前條ノ場合ニ於テ沒收シタル物件ハ之ヲ意匠登録證主ニ給付ス

第二十四條 前條ノ場合ニ於テ沒收シタル物件ハ之ヲ意匠登録證主ニ給付ス

第二十五條 前條ノ場合ニ於テ沒收シタル物件ハ之ヲ意匠登録證主ニ給付ス

○名村泰藏君 ソレデハ先程チヨット申上ゲテ置キマシタ通十九條ノ六箇月以下ノ下ニ「十五日以上」ト云フ五字ヲ加ヘテウ存シマス、加ヘテ置カナケレバ刑法ノ總則ニ反スルト思マス、刑法ノ總則ニハ禁錮ハ一年以上五年以下ト斯ウ定メテアリマス、此法ニ致シマシテモ最下點ヲ示サレヌノハ甚ダ本都合デアラウト思ヒマスルカラ此所ニ十五日以上ト云フコトヲ……十五日以上六箇月以下ノ重禁錮ト斯ウ云フコトニナリタイト存シマスカラ、ドウカ二十人以上ノ賛成ヲ以テ此修正ガ成立ツヤウニ願ヒタウゴザイマス

- 關義臣君 賛成
- 男爵中川與長君 賛成
- 子爵小笠原壽長君 賛成
- 久保田讓君 賛成
- 西村亮吉君 賛成
- 伯爵立花寛治君 賛成
- 松本鼎君 賛成
- 住友吉右衛門君 賛成
- 子爵木莊壽巨君 賛成
- 子爵錦織教久君 賛成
- 子爵島居忠文君 賛成
- 子爵鍋島直柔君 賛成
- 谷森眞男君 賛成
- 男爵玉松眞幸君 賛成
- 子爵一柳末徳君 賛成
- 子爵丹羽長保君 賛成

〔此他〕賛成ト述フル數多アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 定規ノ賛成ヲ得マシテゴザイマス……然ラバ名村君ノ修正ニ附イテ決ヲ採リマス、名村君ノ修正説ハ「十五日以上六箇月以下ノ重禁錮」云々、之ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 多數デゴザイマス、次ニ第二十條ヨリ第二十四條マデ問題ニ供シマス、朗讀ハ省略シマス

第二十二條 第十七條ノ犯罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス

第二十一條 意匠登録証主登録標記ヲ付スルコトヲ怠リタルトキハ其ノ登録意匠タルコトヲ知リタル者ニ對シテノミ要償ノ訴ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 特許法第六條乃至第十條第十二條第十三條第十五條第二十一條第二十三條第二十八條乃至第三十七條第四十三條第五十一條及第五十二條ノ規定ハ意匠ニ關シテ之ヲ準用ス

第二十三條 此ノ法律ハ明治三十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十四條 明治二十一年勅令第八十五號意匠條例ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

意匠條例ニ依テ受ケタル登録ハ其ノ年限間此ノ法律ニ依テ受ケタル登録ト同一ノ效アルモノトス

附則

意匠ニ關スル出願又ハ請求ニシテ此ノ法律施行ノ日マデニ處分ヲ終ラサルモノハ此ノ法律ニ依リタル出願又ハ請求ト看做シ處分スヘシ

〔特別委員修正案〕

第二十一條 意匠登録証主登録標記ヲ付スルコトヲ怠リタルトキハ其ノ登録意匠タルコトヲ知リテ其ノ權利ヲ侵害シタル者ニ對シテノミ要償ノ訴ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 特許法第六條乃至第十條第十二條第十三條第十五條第二十一條第二十三條第二十八條乃至第三十七條第四十三條及第五十一條ノ規定ハ意匠ニ關シテ之ヲ準用ス

○副議長(侯爵黒田長成君) 委員會ノ修正ノ通御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

然ラバ其通ニ決シマス

○男爵中川與長君 直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ

〔賛成〕ト呼フ者數名アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 直ニ第三讀會ヲ開クコトニ附イテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

○田中芳男君 意匠法ニ質問シタト略々同様ノ意味合デ御質問致シマスガ唯今マデ此第二條ノ二ノ如キモノハ許可ニナツテ居ルノヲ此度ニナリマシテ許可セヌト云フコトニナリマシタガ、是ハ從前ヨリ斯様ナモノハ願出タ例シガ無イカラデゴザイマス、ソレヲ一應承リタウゴザイマス

○政府委員(藤田四郎君) 簡單デゴザイマスカラ是カラ御答致シマス、是ハ今日マデ省令デ規定シテアリマシタノヲ法律デ定メマスノデ

○副議長(侯爵黒田長成君) 第二讀會ニ移ッテモ宜シウゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○伯爵大原重朝君 第二讀會ヲ直ニ開カレンコトヲ……

〔賛成〕ト呼フ者數名アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 直ニ第二讀會ヲ開イテモ宜シウゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス、朗讀ハ省略ヲ致シマス

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

商標法

第一條 自己ノ商品ヲ表彰スル爲商標ヲ專用セントスル者ハ此ノ法律ニ依リ其ノ登録ヲ受クヘシ

第二條 文字、圖形又ハ記號ニシテ左ノ場合ニ該當スルモノハ商標ノ登録ヲ受クルコトヲ得ス

一 菊花御紋章ト同一若ハ類似ノ圖形ヲ有スルモノ

二 國旗、軍旗、勳章又ハ外國ノ國旗ト同一若ハ類似ノモノ

一 菊花御紋章ト同一若ハ類似ノ圖形ヲ有スルモノ

二 國旗、軍旗、勳章又ハ外國ノ國旗ト同一若ハ類似ノモノ

三 秩序又ハ風俗ヲ紊リ若ハ世人ノ欺瞞スルノ虞アルモノ
他人ノ登録商標又ハ其ノ登録失効後一年ヲ經過セサルモノト同一若
ハ類似ニシテ同商品ニ使用セントスルモノ

四 此ノ法律施行前ヨリ他ニ使用者アル商標ト同一若ハ類似ノモノ
六 商品ノ普通名稱、產地ヲ表彰スルモノ又ハ其ノ品位、品質、形狀ヲ
商業上慣用ノ文字、圖形若ハ記號ニ依リ表彰スルモノ及普通ニ使用
セラルル氏名、商號、會社名若ハ組合名ヲ普通ノ書體ニ依リ記載ス
ルモノ

七 欄、地紋其ノ他特別著明ノ外觀ナキモノ
第三條 商標專用ノ年限ハ二十年トシ原簿登録ノ日ヨリ起算ス
外國ノ登録商標ニシテ帝國ニ於テ登録ヲ受ケタルモノノ専用年限ハ原登
録ノ有效年限ニ從フ但シ二十年ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 商標專用年限滿了ノ後其ノ商標ヲ續用セントスル者ハ更ニ其ノ登
録ヲ受ケルコトヲ得
第五條 商標ノ専用ハ農商務大臣ノ定ムル類別ニ從ヒ出願人ノ指定シタル
商品ニ限ル

第六條 登録商標主其ノ營業ヲ讓渡シ又ハ他人ト其ノ營業ヲ共ニスル場合
ニ限リ其ノ商標ヲ讓渡シ若ハ共有ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ特許
局ニ請求シ其ノ登録ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコト
ヲ得ス

第七條 登録商標ノ受ケントスル者ハ一商標毎ニ其ノ商標ヲ付スヘキ商
品ヲ明記シ見本ヲ添ヘ特許局長ニ出願スヘシ
第八條 二人以上同一又ハ相類似スル商標ヲ同商品ニ使用セントシテ登録
ヲ出願スル者アルトキハ出願ノ先ナルモノヲ登録シ同時ニ出願シタルモ
ノハ共ニ之ヲ登録セス但シ出願者一人トナリタルトキハ此ノ限ニアラス

第九條 工業所有權保護同盟條約國ニ於テ商標登録ヲ出願シタル者四箇月
以內ニ同一商標ニ就キ登録ヲ出願スルトキハ其ノ出願ハ最初出願ノ日ニ
於テ之ヲ爲シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第十條 登録ヲ受ケタル商標ニシテ第二條又ハ第八條ニ違反シタルモノナ
ルトキハ其ノ登録ヲ無効トス但シ第二條第四號若ハ第五號ニ該當シ又ハ
第八條ニ違ヒ登録ヲ受ケタルモノニシテ登録後三年ヲ經タルトキハ此ノ
限ニアラス

第十一條 登録ヲ受ケタル商標ニシテ左ノ場合ニ該當スルモノアルトキハ
特許局長ニ於テ其ノ登録ヲ取消スコトヲ得
一 登録商標主登録後其ノ商標ヲ使用スル商品ノ產地、品質等ニ關シ不
實ノ事項ヲ附記シタルトキ

二 登録商標主正當ノ事故ナクシテ六箇月以上第二十條ニ依ル特許法第
六條ノ代理人ヲ置カサルトキ

第十二條 商標專用權ハ登録商標主其ノ商標ヲ使用スル營業ノ廢止ニ因リ
消滅ス

第十三條 商標ノ登録ヲ受ケル者ハ一商標ニ付商品一類毎ニ商標料金三十
圓ヲ納ムヘシ續用ノ登録ニ付テモ亦同シ
第十四條 特許局ハ商標公報ヲ發行シ商標登録ニ關スル必要事項ヲ公示ス
ヘシ

第十五條 證人又ハ鑑定人ニシテ特許局又ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ對シ
偽證又ハ詐偽ノ鑑定ヲ爲シタルトキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ
五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シ偽證又ハ詐偽ノ鑑定ヲ爲サシメタル
者ハ罰前項ニ同シ

前二項ノ罪ヲ犯シタル者其ノ事件ノ査定若ハ審決ニ至ラサル前特許局又
ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ自首シタルトキハ本刑ヲ免ス

第十六條 他人ノ登録商標ナルコトヲ知り其ノ承諾ヲ經スシテ之ト同一又
ハ類似ノ商標ヲ製造シ之ヲ交付若ハ販賣シタル者又ハ他人ノ登録商標ト
同一若ハ類似ノ商標ヲ同商品ニ使用シタル者又ハ情ヲ知りテ其ノ商品ヲ
販賣シ若ハ販賣ノ爲所藏シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮又ハ二十
圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

他人ノ登録商標ヲ有スル容器、包裝等ヲ同商品ニ使用シタル者又ハ情ヲ
知りテ其ノ商品ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所藏シタル者又ハ他人ノ登録商標
ト同一若ハ類似ノ商標ヲ其ノ商品販賣ノ廣告、看板、引札等ニ使用シタ
ル者ハ罰前項ニ同シ

第十七條 詐偽ノ所爲ヲ以テ商標ノ登録ヲ受ケタル者又ハ登録ヲ受ケサル
商標ニ登録標記ヲ付シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知り
テ其ノ商品ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所藏シタル者ハ十五日以上一年以下ノ
重禁錮又ハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

登録ヲ受ケスシテ登録標記又ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ付シタル商標ヲ廣
告、看板、引札等ニ使用シタル者ハ罰前項ニ同シ

第十八條 第十六條及第十七條ノ場合ニ於テハ商標及商標ヲ表示スヘキ原
具ヲ沒收ス其ノ商標ト分離スヘカラサル商品、容器、包裝等ハ之ヲ毀壞
セシム

第十九條 第十六條ノ犯罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス

第二十條 特許法第六條乃至第十條第十二條第十三條第十五條第二十一條
第二十三條第二十八條乃至第三十七條第四十三條第五十一條第五十二條
ノ規定ハ商標ニ關シテ之ヲ準用ス

第二十一條 主務官廳ニ於テ認可シタル同業者ノ組合ニシテ商標章ヲ商標ト
シテ專用セントスルトキハ此ノ法律ニ依リ登録ヲ受ケルコトヲ得
前項ニ依リ登録ヲ受ケタル商標章ハ登録商標ニ準ス

附則
第二十二條 此ノ法律ハ明治三十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十三條 明治二十一年勅令第八十六號商標條例ハ此ノ法律施行ノ日ヨ
リ之ヲ廢止ス

商標條例ニ依テ受ケタル商標ハ此ノ法律ニ依テ受ケタル商標ト同一ノ效
アルモノトス

商標ニ關スル出願又ハ請求ニシテ此ノ法律施行ノ日マテニ處分ヲ終ラサ

ルモノハ此ノ法律ニ依リタル出願又ハ請求ト看做シ處分スヘシ

第二十四條 明治二十一年勅令第八十六號商標條例第二條第三號ニ該當シ

又ハ同第八條ニ違ヒ登錄ヲ受ケタル商標ニシテ同第十條ニ依リ無効タル

ヘキモノニ對シテハ此ノ法律施行後二年ヲ經過スルトキハ其ノ登錄無効

ノ審判ヲ請求スルコトヲ得ス

(特別委員修正案)

第九條 工業所有權保護同盟條約國ニ於テ商標登錄ヲ出願シタル者四箇月

以內ニ同一商標ニ付登錄ヲ出願スルトキハ其ノ出願ハ最初出願ノ日ニ於

テ之ヲ爲シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第十六條 他人ノ登錄商標ナルコトヲ知り其ノ承諾ヲ經スシテ之ト同一又

ハ類似ノ商標ヲ製造シ之ヲ交付若ハ販賣シタル者又ハ他人ノ登錄商標ト

同一若ハ類似ノ商標ヲ同商品ニ使用シタル者又ハ情ヲ知リテ其ノ商品ヲ

販賣シ若ハ販賣ノ爲所藏シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮又ハ二十

圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

他人ノ登錄商標ヲ有スル容器、包裝等ナルコトヲ知り之ヲ同商品ニ使用

シタル者又ハ情ヲ知リテ其ノ商品ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所藏シタル者又

ハ他人ノ登錄商標ト同一若ハ類似ノ商標ヲ其ノ商品販賣ノ廣告、看板、引

札等ニ使用シタル者ハ罰前項ニ同シ

第十七條 詐偽ノ所爲ヲ以テ商標ノ登錄ヲ受ケタル者又ハ登錄ヲ受ケサル

商標ニ登錄標記ヲ付シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知リ

テ其ノ商品ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所藏シタル者ハ十五日以上一年以下ノ

重禁錮又ハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

登錄ヲ受ケスシテ登錄標記又ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ付シタル商標ヲ其ノ

商品販賣ノ廣告、看板、引札等ニ使用シタル者ハ罰前項ニ同シ

第二十條 特許法第六條乃至第十條第十二條第十三條第十五條第二十一條

第二十三條第二十八條乃至第三十七條第四十三條及第五十一條ノ規定ハ

商標ニ關シテ之ヲ準用ス

全部委員會ノ修正ノ通御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

府縣制中改正法律案 第一讀會

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治三十二年一月二十八日

發議者 中西光三郎

贊成者 色部義太夫

子爵 板倉勝達

外二十三名

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

明治二十三年法律第三十五號府縣制中左ノ通改正ス

第二條第一項ヲ「府縣會ハ府縣内郡市ノ選舉會東京市京都市大阪市ハ區

ノ選舉會ニ於テ選舉シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス」ニ改メ第二項中「郡

市」ノ下ニ「區」ヲ加フ

第三條ヲ削除ス

第四條ヲ第三條ニ改メ同條第一項中「十圓」ヲ「五圓」ニ改メ「府縣會」ノ下

「ノ」ヲ削リ「議員ノ選舉權及」ヲ加ヘ第二項中「府縣會」ノ下ニ「議員」ヲ

加フ

第三條ノ次ニ左ノ十條ヲ加フ

第四條 選舉會ハ郡役所市役所區役所ニ於テ之ヲ開キ郡長市長區長其選

舉長トナリ之ヲ管理ス

第五條 郡ニ於テハ町村役場又ハ町村長ノ指定シタル場所ニ投票所ヲ設

ケ町村長之ヲ管理ス

第六條 郡ノ選舉長ハ毎年四月一日ヲ期トシ各町村長ヲシテ其投票區域

内ニ於テ選舉資格ヲ有スル者ヲ調査シ選舉人名簿二通ヲ調製シ同月二

十日迄ニ其一通ヲ差出サシムヘシ

市又ハ區ノ選舉長ハ其選舉區域内ニ於テ選舉資格ヲ有スル者ヲ調査シ

選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ハ選舉人ノ姓名官位職業身分住所生年月納ムルトコロノ直

接國稅ノ總額ニ納稅地ヲ記載スヘシ

第七條 選舉人其住居スル選舉區域又ハ第五條ノ投票區域外ニ於テ直接

國稅ヲ納ムルトキハ納稅地ノ市長區長若ハ町村長ノ證明ヲ得テ毎年四

月一日迄ニ選舉長又ハ其投票管理スル町村長ニ差出スヘシ

第八條 選舉長ハ選舉人名簿ヲ合シテ一冊トシ其際本ヲ毎年五月五日ヨ

リ十五日間郡役所市役所區役所ニ於テ縱覽ニ供スヘシ

選舉人名簿ニ關シテ異議アル者ハ縱覽期限内ニ府縣參事會ニ訴願スヘ

シ

第九條 選舉人名簿ハ六月十五日ヲ以テ確定期限トシ次年ノ調製ノ日迄

之ヲ据置クヘシ但裁決若ハ判決ニ依リ修正スヘキモノハ其正本若ハ謄

本ヲ受取リタルトキヨリ二十四時間内ニ之ヲ修正シ其由ヲ郡市區内ニ

告示スヘシ

第十條 投票管理者ハ其投票區域内ニ於ケル選舉人中ヨリ立會人二名以上五名以下ヲ定メ遲クトモ選舉ノ期日三日以前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉ノ當日投票所ニ參會セシムヘシ

第十一條 投票管理者ハ一名又ハ數名ノ立會人ト共ニ投票ノ翌日投票函及投票明細書ヲ併セテ選舉管理ノ郡役所ニ送致スヘシ

第十二條 一郡内ニアル島嶼ニシテ前條ノ期限内ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサル情況アルトキハ府縣知事ハ選舉人名簿確定ノ日ヨリ選舉ノ期日ヲ定メ選舉會ノ期日迄ニ其投票函ヲ送致セシムルコトヲ得

第十三條 郡ノ選舉長ハ各投票所ヨリ參會シタル立會人ノ中ヨリ抽籤ヲ以テ選舉委員三名以上七名以下ヲ定ムヘシ

第十四條 投票及選舉ノ手續投票ノ效力投票所及選舉會場ノ取締竝ニ選舉違反ニ關スル罰則ニ衆議院議員選舉法ノ規定ヲ準用ス但投票ハ匿名トス

第十五條 左ノ如ク改ム
第十五條 府縣會議員ハ名譽職トシ其任期ヲ四年トス但任期ヲ終リタル後仍選舉ニ應スルコトヲ得

第十六條 第十七條ニ改メ同條中「十四日前」ヲ「二十日前」ニ改ム
第十七條 第十八條ニ改メ同條第一項中「市長」ノ下ニ「區長」ヲ加ヘ「府縣知事」ノ下ニ「區長ハ市長」ヲ加フ

第十八條 第十九條ニ改メ同條中「十日」ヲ「二十日」ニ改ム
第十九條 第二十條ニ改メ以下第十三條マテ各條數ノ繰下之ニ倣フ

第二十條 第二十一條ニ改メ以下第十八條マテ各條數ノ繰下之ニ倣フ
第二十一條 第二十二條ニ改メ同條第一項中「其任期ハ議員ノ任期ニ從フ」ヲ削ル

第二十二條 第三十條ニ改メ以下第二十四條マテ各條數ノ繰下之ニ倣フ
第二十三條 左ノ如ク改ム

第二十四條 府縣會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ左ノ規定ニ依ルヘシ
一 投票ハ議員自ラ議長ノ面前ニ於テ之ヲ投票函ニ投入ス投票ハ匿名トス

二 左ノ投票ハ之ヲ無効トス
一 記載セル人名ノ讀ミ難キモノ
二 被選人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
三 被選舉權ナキ人名ヲ記載スルモノ

四 被選人姓名ノ外他ノ文字ヲ記入スルモノ但爵位職業身分住所又ハ敬稱ハ此限ニ在ラス
本項一ヨリ三ニ至ルノ場合ニ於テ票中他ニ列記ノ被選人ニ付テハ

仍其效アリトス
三 有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同シキモノハ年長者ヲ取り年齡相同シキトキハ議長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム

第二十六條 第三十六條ニ改ム
第二十七條 第三十七條ニ改メ同條第三項中「市會」ヲ削除ス
第二十八條 第三十八條ニ改メ以下第三十七條マテ各條數ノ繰下之ニ倣フ

第三十八條 第四十八條ニ改メ同條第一項中「高等官二名」ヲ削除シ第二項中「八名」ヲ「十名」「四名」ヲ「五名」ニ改メ第三項中「四名」ヲ「六名」ニ改ム

第三十九條 削除ス
第四十條 第四十九條ニ改メ同條中「高等官會員之ヲ代理ス」ヲ「會員ニ於テ臨時議長ヲ互選スヘシ」ニ改ム

第四十一條 第五十條ニ改メ同條中「八名」ヲ「十名」「四名」ヲ「六名」ニ改ム
第四十二條 第五十一條ニ改メ以下第四十五條マテ各條數ノ繰下之ニ倣フ

第四十六條 第五十五條ニ改メ同條第一項中「又ハ其代理者」「名譽職」及但書ヲ削除シ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
府縣ノ高等官ハ府縣參事會ノ議事ニ參與スルコトヲ得但議決ニ加ハルコトヲ得ス

第四十七條 第五十六條ニ改メ以下第五十四條マテ各條數ノ繰下之ニ倣フ
第五十五條 第六十四條ニ改メ同條中「一圓五十錢」ヲ「三圓」ニ改ム
第五十六條 第六十五條ニ改メ以下第九十八條マテ各條數ノ繰下之ニ倣フ

附則
本法ハ次ノ府縣會議員改選期ヨリ施行ス
(中西光三郎君演壇ニ登ル)

○中西光三郎君 私人府縣制改正案提出者ノ一人デゴザイマスルガ簡短ニ改正ノ主旨ヲ申上ゲマスデゴザイマス、第一改正ノ要點ハ府縣會議員ノ選舉ハ現行法ニ據リマスレバ郡會議員ガ複選スルコトニナツテ居リマス、之ヲ改メテ町村ノ公民權ヲ有スル者ニシテ直接國稅五圓以上ヲ納ムル者ニ選舉ヲ行ハシメタイト存シマスルノデゴザイマス、其譯ハ複選ニ致シマスレバ甚ダ選舉ハ簡便ノヤウデゴザイマスガ、ソレニ附キマシテハ却ツテ選舉ノ場合ニ競争ガ激甚ニナリマスル嫌モゴザイマス殊ニ町村ノ公民權ヲ有スル者ハ府縣稅ヲ負擔スル所ノ主ナル者デゴザイマス、然ルニ複選法ヲ存シテ置ク以上ハ町村ノ公民權ヲ有スル者ハ唯ノ村會議員ヲ選ブニ止リ其以上ハ郡會議員ヲ選ブ權モゴザイマセズ縣會議員ヲ選ブ權モナイ譯デゴザイマス、府縣制ノ實施上ニ於キマシテ不平ヲ鳴シテ居リマスルコトハ事實蔽フベカラザルコトデゴザイマス、故ニ願ハクハ複選法ヲ廢シマシテ公民權ヲ有スル者ニ直接ニ選舉ヲ

行ハシメタナラバ大ニ満足ヲ致シ宜シキヲ得ルコトデアラウト考ヘマスル、
 第二ニハ府縣ノ參事會員ノ中ニ高等官二名加ルコトニナツテ居リマス、高等
 官ヲ參事會員ニ加ヘルコトヲ廢メマシテ府縣參事會員ハ議長ハ府縣知事ガ致
 スコトニナリ議長ヲ除クノ外ノ會員ハ總テ府縣會議員中ヨリ公選スルコトニ
 致シタイト存ジマス、是ハ畢竟府縣會議員即チ府縣人民ヲシテ満足セシム
 ル譯デアリマシテ、而シテ府縣高等官ハ府縣參事會ニ出席致シマシテ議事ニ
 參與致シテ自由ニ辯論ノ出來ル一箇條ヲ設ケマシタノデ、併ナガラ可否ノ數
 ニハ加ラヌノデ、從前府縣制ヲ布カレレマデノ前ノ常置委員會ノトキノ有様
 ト唯今ノ私ノ改正ヲ希望シマスルノト事實ハ變リマセヌ次第デゴザイマス、
 第三ニハ府縣會議員ノ任期ハ四年デ現行法ハ二箇年毎ニ其半數ヲ改選スルコ
 トニ相成ツテ居リマスガ此半數改選ヲ止メマシテ衆議院議員同様四年毎ニ全
 數ヲ舉ゲテ改選スルヤウニ致シタイト云フノデゴザイマス、此半數改選ハ恐
 ラクハ同時ニ議員ガ變リマスヲ慣行杯ノ心得ノアル者ガナクナツテハ不都合
 デアラウト云フヤウナ精神ヲ以テ半數改選法ヲ設ケラレマシタヤウニ存ジマ
 ス、府縣會ハ明治十二年以來開ケマシテ殆ド二十年ノ星霜ヲ重ネマシテ今日
 ト相成ツテ居リ最早全數ヲ同時ニ改選シマシタ所ガ少モ差支ゴザイマセヌ、
 且ツ又前任者ハ幾度デモ再選セラレルコトガ出來ル次第デゴザイマスカラ寧
 ロ半數改選ヲ止メテ四年毎ニ全數ヲ改選致シタイト存ジマス、尙ホ又半數改
 選ノ制度ヲ存置致シマスルト斯ノ如キ不都合ガ生ジマスルデゴザイマス

(一) 中ヨリト伺ヒマスガ定足數ガゴザイマスカト述フル者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 唯今取調ベテ居リマス

○中西光三郎君 半數改選ヲ存シテ置キマスルト云フト議長副議長及縣參事
 員杯ガ議員ノ任期ニ從フト云フコトニナツテ居リマス、其半數改選ノ場合ニ
 當リマシテモ正副議長府縣參事員杯ガ任期ガ二箇年殘ルト云フコトガ生
 ジテ來マス、是ハ頗ル不都合ナ話ト存ジマスル譯デ、ソレ故ニ半數改選ヲ止
 メタイ、モウ一箇條ハ府縣會議員ニシテ府縣參事員ノ滯在手當等ハ唯今デハ
 一圓五十錢ト云フコトニナツテゴザイマス、一圓五十錢ヲ超過スベカラズト
 ゴザイマス、是ハ改メマシテ三圓ヲ超過スベカラズト改メタイノデゴザイマ
 ス、先ヅ改正ノ趣旨ハ唯今申上ケマシタ要點ニ止マリマス、希ハクハ本案ヲ
 委員ニ御付託相成リマシテ宜シク御審査ヲ希望致シマス

○松本縣君 特別委員付託ニ贊成

(一) 定足數ハアリマスカト述フル者アリ

○籠手田安定君 私ハ大體ニ附イテ質問ヲ致シタイト思ヒマスガ……

○副議長(侯爵黒田長成君) 唯今定足數ヲ調ベテ見マシタトコロガ餘程定足
 數ヲ缺イテ居リマスカラ今日ハ議事ヲ是デ止メマス

○籠手田安定君 然ラバ他日ヲ待ツテ質問ヲ致シマセウ

○副議長(侯爵黒田長成君) 明日ノ議事日程ヲ報告致シマスガ其前ニ先刻御
 依託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報道ニ及ヒマス

(太田書記官長朗讀)

外國人ノ署名、捺印及無資力證明ニ關スル法律案、特別委員

- 伯爵勸修寺顯允君 子爵高野宗順君 村田保君
- 伯爵本多副元君 男爵島津珍彦君 男爵生駒親忠君
- 關義臣君 山脇玄君 岡部勇作君

- 二月七日午前十時開議
 - 第一 男爵安場保和君請暇ノ件
 - 第二 噸稅法案(政府提出案)
 - 第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
 - 第四 戎器火藥類取締法案(政府提出案)
 - 第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
 - 第六 不動産登記法案(政府提出案)
 - 第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
 - 第八 國債ヲ外國ニ於テ募集スル場合ニ關スル法律案(政府提出案)
 - 第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
 - 第十 著作權法案(政府提出案)
 - 第十一 愛媛縣下郡界變更法律案(衆議院提出案)
 - 第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
 - 第十三 府縣制中改正法律案(中西光三郎君)
 - 第十四 郡制中改正法律案(中西光三郎君)
 - 第十五 學政振振ニ關スル建議案(侯爵黒田長成君)
- 午後零時十五分散會